

# 里庄町一般廃棄物処理基本計画

〔資料編〕

令和2年3月

里 庄 町



# 目 次

## 第1節 ごみ組成調査結果

1. 調査概要-----1-1
2. 調査結果-----1-2
3. 前回調査（2014年7月）との比較-----1-9
4. 調査状況写真-----1-11

## 第2節 ごみ排出量等の将来見込み

1. 将来見込みの算出手順-----2-1
2. 行政区域内人口の推計-----2-2
3. ごみ排出量の将来推計（単純推計）-----2-4
4. ごみ排出量の将来推計（目標値達成）-----2-17
5. 処理内訳-----2-20

## 第3節 生活排水処理形態別人口及びし尿・浄化槽汚泥量の将来見込み

1. 将来見込みの算出手順-----3-1
2. 処理形態別人口-----3-2
3. し尿及び浄化槽汚泥量-----3-5



## 第1節 ごみ組成調査結果

### 1. 調査概要

#### (1) 調査の目的

ごみステーションに排出された家庭系ごみの中に、分別徹底により資源ごみに出すことで資源化・削減が可能なごみ（古紙・衣類・容器包装類等）や、減量可能なごみ（手付かず食品等）が、どの程度混入しているかなど、地域別のごみ排出特性について把握すること、また、平成26年度の組成調査時からどの程度変化しているか確認することを目的に、湿重量ベースのごみ組成調査を実施しました。

#### (2) 調査対象ごみ・調査数量

組成調査は家庭から排出される「燃えるごみ」及び「燃えないごみ」を対象とし、地域による排出特性に配慮し、表1-1の調査数量としました。

◆図表 1-1 調査数量

ごみの種類	調査数量（地域）	1検体あたりの袋数
燃えるごみ	4検体（里見、グリーンホルスト、新庄、浜中）	10袋（大袋）
燃えないごみ	4検体（同 上）	15袋（中袋）

調査状況



- ✓ 1検体の重量は次のとおりです。  
燃えるごみ：約50～60kg  
燃えないごみ：約55～60kg  
燃えないごみは大袋が無いので1検体を中袋で15袋としました。
- ✓ 調査試料としたごみ袋は、各地域それぞれ6～8箇所程度のごみステーションから1～3袋ずつを採取し、中身に偏りのある袋などを除外したうえで1検体あたりの袋数に調整しました。

#### (3) 調査期間

	サンプリング	調査
燃えるごみ	令和元年8月5日～6日	令和元年8月5日～6日
燃えないごみ	令和元年8月1日～2日	令和元年8月5日

#### (4) 分類方法等

調査試料としたごみは、検体ごとに表2、表3の項目（品目）に分類し、それぞれ重量等を計測しました。

## (5) 調査結果の集計

検体ごとの調査結果は、燃えるごみ、燃えないごみ各々で4地域を単純平均し、町全体の組成としました。

## 2. 調査結果

### (1) 燃えるごみ

燃えるごみについては、分別すれば資源化が可能なものが18.7%、削減可能な生ごみ(手付かず食品)が15.6%、適正な排出が65.2%、異物が0.5%でした。なお、手付かず食品は容易に削減が可能と考えられますが、いずれの検体でも10~20%程度含まれていました。

資源化可能なものの内訳では、紙製容器包装類が5.1%、その他紙が2.7%、レジ袋及びプラ製容器包装類がそれぞれ2.1%と比較的多く、それ以外はいずれも2%未満でした。

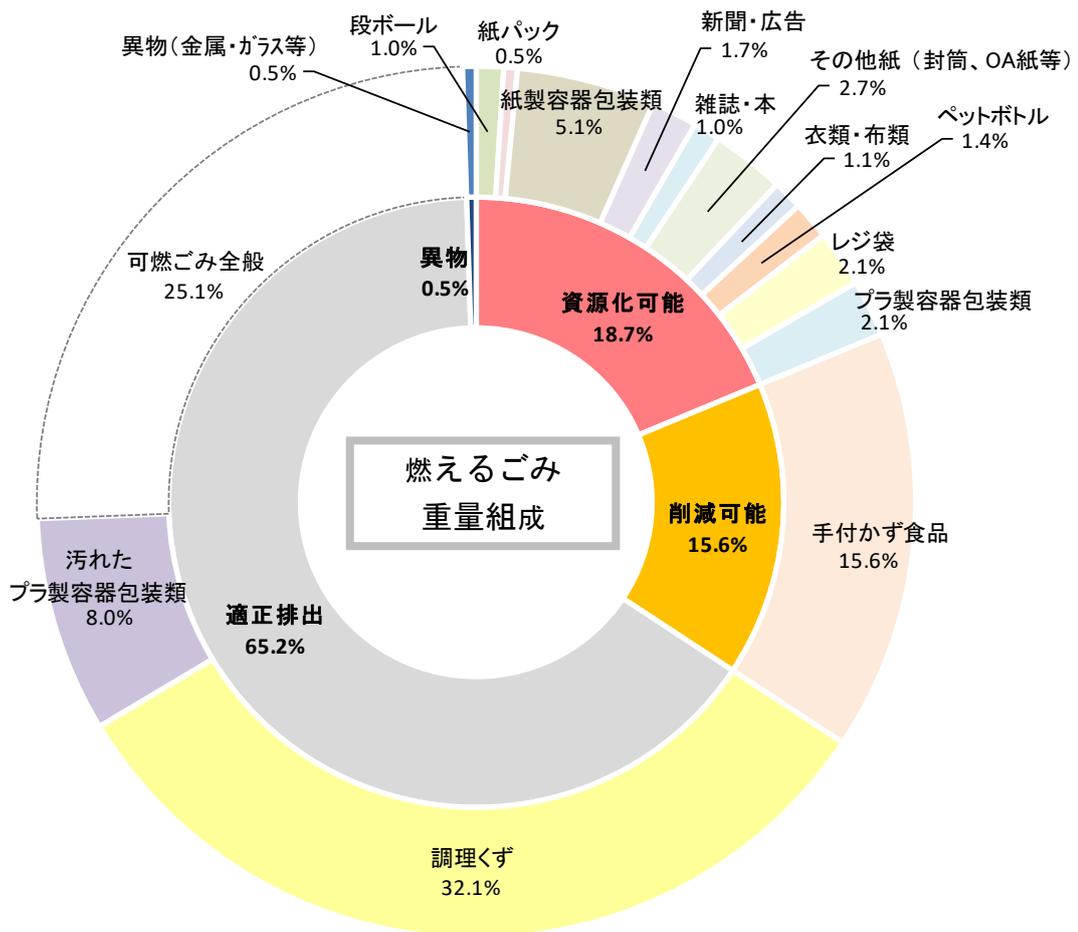
また、適正に排出されたごみには、一部削減が可能な調理くず(堆肥化や調理を工夫、作りすぎないなどで削減可能)32.1%や、洗って出すこと等により資源ごみに排出できる汚れたプラ製容器包装類8.0%も含まれています。

異物となる不燃物のごくわずかですが、資源化可能なものが20%近く混入しており、手付かず食品と合わせて30~40%程度は燃えるごみの削減が可能な組成であることが分かりました。

◆図表 1-2 燃えるごみの分類項目と調査結果（町全体の重量組成）

大分類	中分類	小分類	評価分類	町全体
可燃物	紙類	段ボール	資源化可能	1.0%
		紙パック	資源化可能	0.5%
		紙製容器包装類	資源化可能	5.1%
		新聞・広告	資源化可能	1.7%
		汚れた新聞・広告	適正排出	1.4%
		雑誌・本	資源化可能	1.0%
		その他紙（封筒、OA紙等）	資源化可能	2.7%
		ざつ紙類（ちり紙等）	適正排出	5.9%
		紙おむつ・生理用品	適正排出	9.0%
	布類	衣類・布類	資源化可能	1.1%
		その他布製品	適正排出	1.3%
	生ごみ	調理くず	適正排出	32.1%
		手付かず食品	削減可能	15.6%
	皮革類	皮・ゴム製品	適正排出	0.4%
	木・竹・わら類	木製品・剪定枝・草木	適正排出	2.2%
	プラスチック類	ペットボトル	資源化可能	1.4%
		レジ袋	資源化可能	2.1%
		プラ製容器包装類	資源化可能	2.1%
		汚れたプラ製容器包装類	適正排出	8.0%
		容器包装以外のプラ類（ごみ袋）	適正排出	0.8%
		容器包装以外のプラ類（その他プラ製品全般）	適正排出	2.7%
その他（可燃）	その他の可燃物（乾燥剤、煙草の吸殻等）	適正排出	1.4%	
不燃物	金属類	空き缶（飲料用）	異物	0.0%
		空き缶以外の金属類	異物	0.4%
	ガラス・陶磁器類	ガラスびん（飲料用）	異物	0.1%
		びん以外のガラス・陶磁器	異物	0.0%
	その他（不燃）	その他の不燃物（複合素材製品、乾電池等）	異物	0.0%
調査ごみ 合計				100.0%

◆図表 1-3 燃えるごみの組成（4 検体（地域）の調査結果を単純平均）



◆図表 1-4 燃えるごみの組成調査結果／4 検体(地域)別

大分類	中分類	小分類	評価分類	調査重量 (kg)				重量組成割合				
				里見	クレスト	新庄	浜中	里見	クレスト	新庄	浜中	
可燃物	紙類	段ボール	資源化可能	1.182	0.333	0.222	0.278	2.4%	0.7%	0.4%	0.6%	
		紙バック	資源化可能	0.066	0.201	0.285	0.527	0.1%	0.4%	0.5%	1.1%	
		紙製容器包装類	資源化可能	2.534	2.565	2.211	3.052	5.1%	5.0%	3.7%	6.5%	
		新聞・広告	資源化可能	0.881	1.328	1.176	0.183	1.8%	2.6%	2.0%	0.4%	
		汚れた新聞・広告	適正排出	0.836	0.793	0.08	1.028	1.7%	1.6%	0.1%	2.2%	
		雑誌・本	資源化可能	0.878	0.705	0.515	0	1.8%	1.4%	0.9%	0.0%	
		その他紙(封筒、OA紙等)	資源化可能	0.556	1.392	1.817	1.759	1.1%	2.7%	3.1%	3.7%	
		ざつ紙類(ちり紙等)	適正排出	2.392	3.066	3.818	3.048	4.8%	6.0%	6.4%	6.5%	
		紙おむつ・生理用品	適正排出	8.6	2.551	4.61	2.724	17.2%	5.0%	7.8%	5.8%	
				紙類計		17.92	12.93	14.73	12.6	36.0%	25.4%	24.9%
布類		衣類・布類	資源化可能	0.478	0.74	0.525	0.41	1.0%	1.4%	0.9%	0.9%	
		その他布製品	適正排出	0.662	0.163	0	1.763	1.3%	0.3%	0.0%	3.7%	
生ごみ		布類計		1.14	0.903	0.525	2.173	2.3%	1.7%	0.9%	4.6%	
		調理くず	適正排出	13.9	15.8	24.2	13.9	27.8%	31.0%	40.8%	29.3%	
		手付かず食品	削減可能	6.5	10.86	7.139	7.584	13.0%	21.3%	12.0%	16.1%	
皮革類		生ごみ計		20.4	26.66	31.34	21.48	40.8%	52.3%	52.8%	45.4%	
		皮・ゴム製品	適正排出	0.586	0	0.035	0.193	1.2%	0.0%	0.1%	0.4%	
木・竹・わら類		皮革類計		0.586	0	0.035	0.193	1.2%	0.0%	0.1%	0.4%	
		木製品・剪定枝・草木	適正排出	1.835	1.639	0.234	0.69	3.7%	3.2%	0.4%	1.5%	
プラスチック類		木・竹・わら類計		1.835	1.639	0.234	0.69	3.7%	3.2%	0.4%	1.5%	
		ペットボトル	資源化可能	1.518	0.376	0.692	0.344	3.0%	0.7%	1.2%	0.7%	
		レジ袋	資源化可能	0.88	0.84	1.446	1.238	1.8%	1.6%	2.4%	2.6%	
		プラ製容器包装類	資源化可能	1.376	0.912	1.12	0.793	2.8%	1.8%	1.9%	1.7%	
		汚れたプラ製容器包装類	適正排出	2.121	4.427	6.786	3.679	4.2%	8.7%	11.4%	7.8%	
		容器包装以外のプラ類(ごみ袋)	適正排出	0.219	0.469	0.419	0.498	0.4%	0.9%	0.7%	1.1%	
		容器包装以外のプラ類(その他プラ製品全般)	適正排出	0.555	0.981	0.754	2.967	1.1%	1.9%	1.3%	6.3%	
		プラスチック類計		6.668	8.005	11.22	9.519	13.3%	15.6%	18.9%	20.2%	
		その他(可燃)	その他の可燃物(乾線剤、煙草の吸殻等)	適正排出	1.14	0.92	0.316	0.423	2.3%	1.8%	0.5%	0.9%
			その他(可燃)計		1.14	0.92	0.316	0.423	2.3%	1.8%	0.5%	0.9%
金属類		可燃物 合計		48.6	51.1	58.4	47.1	99.6%	100.0%	98.5%	99.8%	
		空き缶(飲食料用)	異物	0.016	0	0.059	0	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	
		空き缶以外の金属類	異物	0.025	0	0.801	0.102	0.1%	0.0%	1.4%	0.2%	
		金属類計		0.041	0	0.86	0.102	0.1%	0.0%	1.5%	0.2%	
ガラス・陶磁器類		ガラスびん(飲食料用)	異物	0.101	0	0	0	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
		びん以外のガラス・陶磁器	異物	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他(不燃)		その他の不燃物(複合素材製品、乾電池等)	異物	0.067	0.019	0.022	0	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
		その他(不燃)計		0.067	0.019	0.022	0	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
不燃物 合計				48.8	51.1	59.3	47.2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
調査ごみ 合計				48.8	51.1	59.3	47.2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

※ 端数処理の関係上、若干の誤差を含む。

## (2) 燃えないごみ

燃えないごみについては、分別すれば再資源化が可能なものが40.3%、適正な排出が51.4%、異物が8.3%でした。異物の混入は燃えるごみと較べて多い状況です。

資源化可能なものの内訳では、ガラスびん（一升びんと飲食料用）が31.8%、空き缶が飲料用（アルミ・スチール）と食料用合わせて9.4%、ペットボトルが0.1%でした。

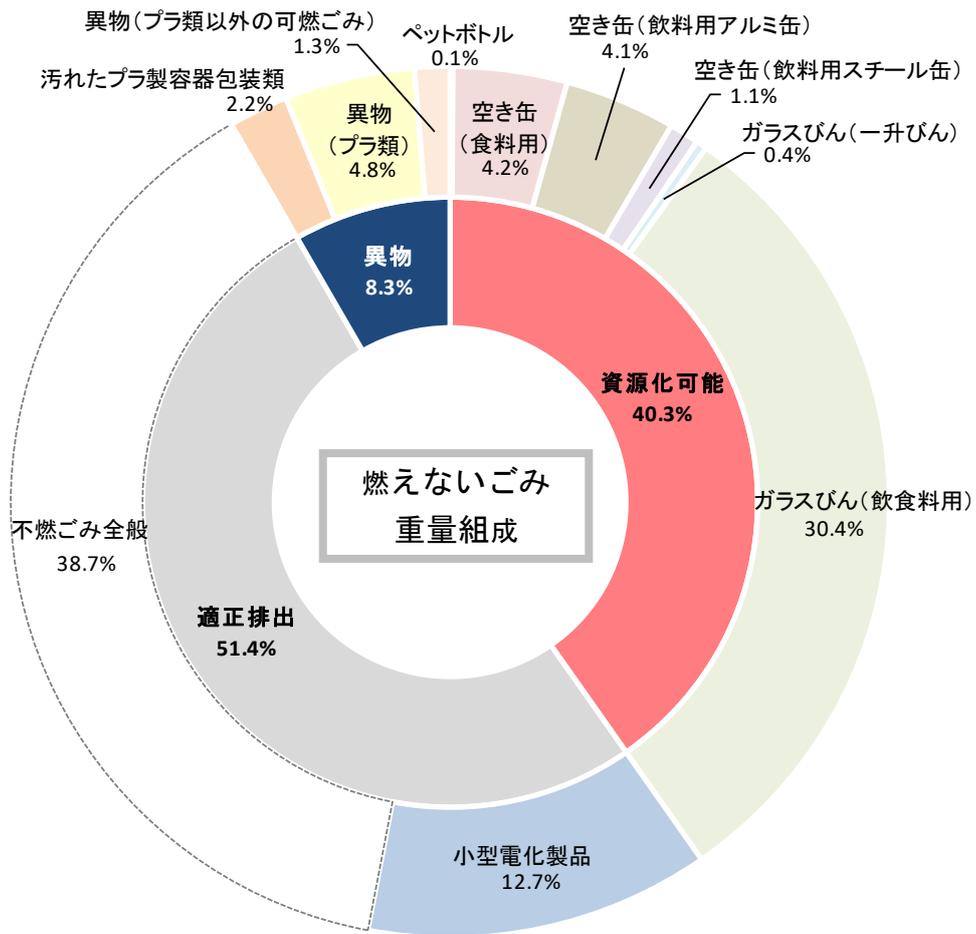
燃えるごみと比べると異物の割合が多く、特にプラ製容器包装類（汚れたもの）やその他プラスチック製品が多く排出されています。

資源化可能なものについては、中身が飲食用のガラスびんや空き缶だけしか入っていない指定袋が多く見受けられるなど大量に排出されている状況です。

◆図表 1-5 燃えないごみの分類項目と調査結果（町全体の重量組成）

大分類	中分類	小分類	評価分類	町全体	
可燃物	紙類	紙類全般	異物	0.3%	
	布類	衣類・布類	異物	0.0%	
	生ごみ	調理くず、手付かず食品	異物	0.1%	
	皮革類	皮・ゴム製品	異物	0.7%	
	木・竹・わら類	木製品、剪定枝、草、花など	異物	0.1%	
	プラスチック類	ペットボトル		資源化可能	0.1%
		プラ製容器包装類（レジ袋含む）		資源化可能	0.2%
		汚れたプラ製容器包装類		異物	2.0%
		容器包装以外のプラ類（ごみ袋）		適正排出	0.6%
		容器包装以外のプラ類（その他プラ製品全般）		異物	4.8%
その他（可燃）	その他の可燃物（乾燥剤、煙草の吸殻等）		異物	0.1%	
不燃物	金属類	空き缶（飲料用アルミ缶）	資源化可能	4.1%	
		空き缶（飲料用スチール缶）	資源化可能	1.1%	
		空き缶（食料用）	資源化可能	4.2%	
		スプレー缶	適正排出	4.8%	
		小型電化製品	適正排出	12.7%	
		その他の金属類	適正排出	13.8%	
	ガラス・陶磁器類	ガラスびん（一升びん）	資源化可能	0.4%	
		ガラスびん（飲食料用）	資源化可能	30.4%	
		飲食料以外のびん、ガラス製品	適正排出	6.7%	
		陶磁器類	適正排出	5.2%	
	その他（不燃）	その他の不燃物（複合素材製品、乾電池等）	適正排出	7.6%	
	調査ごみ 合計				100.0%

◆図表 1-6 燃えないごみの組成（4 検体（地域）の調査結果を単純平均）



◆図表 1-7 燃えないごみの組成調査結果／4 検体(地域)別

大分類	中分類	小分類	評価分類	調査重量 (kg)				重量組成割合			
				里見	クレスト	新庄	浜中	里見	クレスト	新庄	浜中
可燃物	紙類	紙類全般	異物	0.068	0.233	0.067	0.23	0.1%	0.4%	0.1%	0.4%
		紙類計		0.068	0.233	0.067	0.23	0.1%	0.4%	0.1%	0.4%
	布類	衣類・布類	異物	0.006	0.023	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		布類計		0.006	0.023	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	生ごみ	調理くず、手付かず食品	異物	0	0	0.113	0	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
		生ごみ計		0	0	0.113	0	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
	皮革類	皮・ゴム製品	異物	0.497	0.327	0	0.708	0.8%	0.6%	0.0%	1.3%
		皮革類計		0.497	0.327	0	0.708	0.8%	0.6%	0.0%	1.3%
	木・竹・わら類	木製品、剪定枝、草、花など	異物	0	0	0	0.137	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
		木・竹・わら類計		0	0	0	0.137	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
プラスチック類	ペットボトル	資源化可能	0	0.031	0	0.04	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	
	プラ製容器包装類(レジ袋含む)	資源化可能	0	0.249	0.119	0.093	0.0%	0.4%	0.2%	0.2%	
	汚れたプラ製容器包装類	異物	0.183	0.383	2.54	1.262	0.3%	0.7%	4.5%	2.3%	
	容器包装以外のプラ類(ごみ袋)	適正排出	0.383	0.367	0.336	0.395	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	
	容器包装以外のプラ類(その他プラ製品全般)	異物	0.669	4.411	1.869	3.968	1.1%	7.6%	3.3%	7.3%	
	プラスチック類計		1.235	5.441	4.863	5.758	2.0%	9.4%	8.6%	10.6%	
その他(可燃)	その他の可燃物(乾燥剤、煙草の吸殻等)	異物	0.088	0	0.041	0	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	
	その他(可燃)計		0.088	0	0.041	0	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	
金属類	空き缶(飲料用アルミ缶)	資源化可能	4.853	1.524	1.51	1.648	8.2%	2.6%	2.7%	3.0%	
	空き缶(飲料用スチール缶)	資源化可能	0.222	0.566	1.697	0.061	0.4%	1.0%	3.0%	0.1%	
	空き缶(食料用)	資源化可能	0.444	1.619	5.265	2.139	0.8%	2.8%	9.3%	4.0%	
	スプレー缶	適正排出	1.48	2.338	4.951	2.044	2.5%	4.0%	8.7%	3.8%	
	小型電化製品	適正排出	11.2	7.075	3.362	7.346	18.9%	12.2%	5.9%	13.6%	
	その他の金属類	適正排出	8.2	8.539	3.247	11.3	13.9%	14.7%	5.7%	20.8%	
	金属類計		26.4	21.66	20.03	24.54	44.7%	37.3%	35.3%	45.3%	
ガラス・陶磁器類	ガラスびん(一升びん)	資源化可能	0	0.968	0	0	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	
	ガラスびん(飲食料用)	資源化可能	16.57	22	20.73	11.2	28.2%	37.7%	36.3%	20.7%	
	飲食料以外のびん、ガラス製品	適正排出	7.3	2.713	3.51	1.893	12.3%	4.7%	6.2%	3.5%	
	陶磁器類	適正排出	2.917	1.693	3.858	3.282	4.9%	2.9%	6.8%	6.1%	
その他(不燃)	ガラス・陶磁器類計		26.79	27.37	28.1	16.38	45.4%	47.0%	49.3%	30.3%	
	その他の不燃物(複合素材製品、乾電池等)	適正排出	4.066	3.052	3.636	6.412	6.9%	5.3%	6.4%	11.8%	
調査ごみ	その他(不燃)計		4.066	3.052	3.636	6.412	6.9%	5.3%	6.4%	11.8%	
	調査ごみ 合計		59.1	58.1	56.8	54.2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

※ 端数処理の関係上、若干の誤差を含む。

### 3. 前回調査（2014年7月）との比較

#### (1) 燃えるごみ

燃えるごみについては、平成26年度（2014年度）調査から資源化可能が4.3%減少しましたが、削減可能が2.6%増加し、適正排出は1.5%増加となりました。数値上は多少の変化がありますが、概ね同様の組成であると考えられます。

◆図表 1-8 燃えるごみの組成の変化（町全体の重量組成）

大分類	中分類	小分類	評価分類	H26調査 (2014)	R1調査 (2019)	増減 (ポイント)	
可燃物	紙類	段ボール	資源化可能	0.8%	1.0%	0.2%	
		紙パック	資源化可能	0.5%	0.5%	0.0%	
		紙製容器包装類	資源化可能	6.7%	5.1%	-1.6%	
		新聞・広告	資源化可能	2.7%	1.7%	-1.0%	
		汚れた新聞・広告	適正排出	2.4%	1.4%	-1.0%	
		雑誌・本	資源化可能	0.7%	1.0%	0.3%	
		その他紙（封筒、OA紙等）	資源化可能	4.2%	2.7%	-1.5%	
		ざつ紙類（ちり紙等）	適正排出	7.2%	5.9%	-1.3%	
		紙おむつ・生理用品	適正排出	5.0%	9.0%	4.0%	
		紙類計			30.2%	28.3%	-1.9%
	布類	衣類・布類	資源化可能	2.1%	1.1%	-1.0%	
		その他布製品	適正排出	0.7%	1.3%	0.6%	
		布類計			2.8%	2.4%	-0.4%
	生ごみ	調理くず	適正排出	31.3%	32.1%	0.8%	
		手付かず食品	削減可能	13.0%	15.6%	2.6%	
		生ごみ計			44.3%	47.7%	3.4%
	皮革類	皮・ゴム製品	適正排出	2.0%	0.4%	-1.6%	
		皮革類計			2.0%	0.4%	-1.6%
	木・竹・わら類	木製品・剪定枝・草木	適正排出	1.9%	2.2%	0.3%	
		木・竹・わら類計			1.9%	2.2%	0.3%
	プラスチック類	ペットボトル	資源化可能	0.6%	1.4%	0.8%	
		レジ袋	資源化可能	1.7%	2.1%	0.4%	
		プラ製容器包装類	資源化可能	3.0%	2.1%	-0.9%	
		汚れたプラ製容器包装類	適正排出	10.5%	8.0%	-2.5%	
		容器包装以外のプラ類（ごみ袋）	適正排出	0.9%	0.8%	-0.1%	
		容器包装以外のプラ類（その他プラ製品全般）	適正排出	1.6%	2.7%	1.1%	
		プラスチック類計			18.3%	17.1%	-1.2%
その他（可燃）	その他の可燃物（乾燥剤、煙草の吸殻等）	適正排出	0.2%	1.4%	1.2%		
	その他（可燃）計			0.2%	1.4%	1.2%	
不燃物	金属類	空き缶（飲料用）	異物	0.0%	0.0%	0.0%	
		空き缶以外の金属類	異物	0.1%	0.4%	0.3%	
		金属類計			0.1%	0.4%	0.3%
	ガラス・陶磁器類	ガラスびん（飲料用）	異物	0.0%	0.1%	0.1%	
		びん以外のガラス・陶磁器	異物	0.0%	0.0%	0.0%	
		ガラス・陶磁器類計			0.0%	0.1%	0.1%
	その他（不燃）	その他の不燃物（複合素材製品、乾電池等）	異物	0.2%	0.0%	-0.2%	
		その他（不燃）計			0.2%	0.0%	-0.2%
			資源化可能	23.0%	18.7%	-4.3%	
			削減可能	13.0%	15.6%	2.6%	
		適正排出	63.7%	65.2%	1.5%		
		異物	0.3%	0.5%	0.2%		

## (2) 燃えない

燃えないごみについては、平成26年度（2014年度）調査から資源化可能がわずかながら0.9%減少、また異物が3.8%減少し、適正排出が4.7%増加しました。概ね同様の組成と言えますが、資源物、異物の割合がともに減ったことから、若干ながら適正排出が進んだとも考えられます。

◆図表 1-9 燃えないごみの組成の変化（町全体の重量組成）

大分類	中分類	小分類	評価分類	H26調査 (2014)	R1調査 (2019)	増減 (ポイント)	
可燃物	紙類	紙類全般	異物	0.3%	0.3%	0.0%	
		紙類計		0.3%	0.3%	0.0%	
	布類	衣類・布類	異物	0.1%	0.0%	-0.1%	
		布類計		0.1%	0.0%	-0.1%	
	生ごみ	調理くず、手付かず食品	異物	0.1%	0.1%	0.0%	
		生ごみ計		0.1%	0.1%	0.0%	
	皮革類	皮・ゴム製品	異物	1.0%	0.7%	-0.3%	
		皮革類計		1.0%	0.7%	-0.3%	
	木・竹・わら類	木製品、剪定枝、草、花など	異物	1.0%	0.1%	-0.9%	
		木・竹・わら類計		1.0%	0.1%	-0.9%	
	プラスチック類	ペットボトル	資源化可能	1.2%	0.1%	-1.1%	
		プラ製容器包装類（レジ袋含む）	資源化可能	0.0%	0.2%	0.2%	
		汚れたプラ製容器包装類	異物	2.3%	2.0%	-0.3%	
		容器包装以外のプラ類（ごみ袋）	適正排出	0.5%	0.6%	0.1%	
		容器包装以外のプラ類（その他プラ製品全般）	異物	7.0%	4.8%	-2.2%	
プラスチック類計			11.0%	7.7%	-3.3%		
その他（可燃）	その他の可燃物（乾燥剤、煙草の吸殻等）	異物	0.1%	0.1%	0.0%		
	その他（可燃）計		0.1%	0.1%	0.0%		
不燃物	金属類	空き缶（飲料用アルミ缶）	資源化可能	2.4%	4.1%	1.7%	
		空き缶（飲料用スチール缶）	資源化可能	2.7%	1.1%	-1.6%	
		空き缶（食料用）	資源化可能	4.4%	4.2%	-0.2%	
		スプレー缶	適正排出	2.1%	4.8%	2.7%	
		小型電化製品	適正排出	12.5%	12.7%	0.2%	
		その他の金属類	適正排出	11.7%	13.8%	2.1%	
	金属類計			35.8%	40.7%	4.9%	
	ガラス・陶磁器類	ガラスびん（一升びん）	資源化可能	3.1%	0.4%	-2.7%	
		ガラスびん（食料用）	資源化可能	27.6%	30.4%	2.8%	
		食料以外のびん、ガラス製品	適正排出	7.6%	6.7%	-0.9%	
		陶磁器類	適正排出	7.3%	5.2%	-2.1%	
	ガラス・陶磁器類計			45.6%	42.7%	-2.9%	
	その他（不燃）	その他の不燃物（複合素材製品、乾電池等）	適正排出	5.0%	7.6%	2.6%	
		その他（不燃）計		5.0%	7.6%	2.6%	
				資源化可能	41.4%	40.5%	-0.9%
				適正排出	46.7%	51.4%	4.7%
				異物	11.9%	8.1%	-3.8%

## 4. 調査状況写真

### (1) 燃えるごみ

#### ◆調査状況（代表）



#### 調査対象ごみ

ごみ袋ごとの重量を計測



#### 破袋作業

ごみ袋を破袋する。その時点で、生ごみなど、破袋してしまうことで紙類等に水分が移行するものは仕分けておく。



#### 仕分け・計測作業

分類する区分ごとに仕分け、一定量の分類ができた時点で計量（容積・重量）する。

◆ごみステーション状況（排出状況）※代表

調査地域：里見



調査地域：クレスト



◆調査地域別（里見）

対象ごみ



段ボール



紙製容器包装類



汚れた新聞・広告



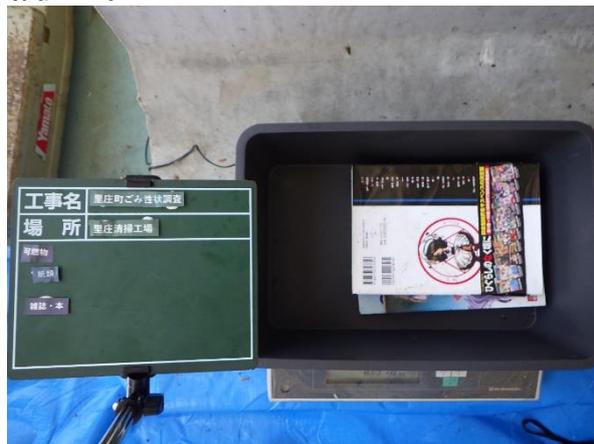
紙パック



新聞・広告



雑誌・本



◆調査地域別（里見）

その他紙（封筒・OA紙等）



紙おむつ・生理用品



その他布製品



手付かず食品



ざつ紙類（ちり紙等）



衣類・布類



調理くず



皮・ゴム製品



◆調査地域別（里見）

木製品・剪定枝・草木



ペットボトル



レジ袋



プラスチック製容器包装類



汚れたプラスチック製容器包装類



容器包装以外のプラ類（ごみ袋）



容器包装以外のプラ類(その他プラ製品全般)



その他の可燃物（乾燥剤・煙草の吸殻等）



◆調査地域別（里見）

空き缶（飲料用）



空き缶以外の金属類



ガラスびん（飲料用）



びん以外のガラス・陶磁器

該当なし

その他の不燃物（複合素材製品・乾電池等）



# ◆調査地域別（クレスト）

## 対象ごみ



段ボール



紙パック



紙製容器包装類



新聞・広告



汚れた新聞・広告



雑誌・本



◆調査地域別（クレスト）

その他紙（封筒・OA紙等）



ざつ紙類（ちり紙等）



紙おむつ・生理用品



衣類・布類



その他布製品



調理くず



手付かず食品



皮・ゴム製品

該当なし

◆調査地域別（クレスト）

木製品・剪定枝・草木



レジ袋



汚れたプラスチック製容器包装類



容器包装以外のプラ類(その他プラ製品全般)



ペットボトル



プラスチック製容器包装類



容器包装以外のプラ類（ゴミ袋）



その他の可燃物（乾燥剤・煙草の吸殻等）



◆調査地域別（クレスト）

空き缶（飲食料用）

空き缶以外の金属類

該当なし

該当なし

ガラスびん（飲食料用）

びん以外のガラス・陶磁器

該当なし

該当なし

その他の不燃物（複合素材製品・乾電池等）



◆調査地域別（新庄）

対象ごみ



段ボール

紙パック



紙製容器包装類

新聞・広告



汚れた新聞・広告

雑誌・本



◆調査地域別（新庄）

その他紙（封筒・OA紙等）



ざつ紙類（ちり紙等）



紙おむつ・生理用品



衣類・布類



その他布製品

調理くず

該当なし



手付かず食品

皮・ゴム製品



◆調査地域別（新庄）

木製品・剪定枝・草木



レジ袋



汚れたプラスチック製容器包装類



容器包装以外のプラ類(その他プラ製品全般)



ペットボトル



プラスチック製容器包装類



容器包装以外のプラ類（ごみ袋）



その他の可燃物（乾燥剤・煙草の吸殻等）



◆調査地域別（新庄）

空き缶（飲料用）



ガラスびん（飲料用）

空き缶以外の金属類



びん以外のガラス・陶磁器

該当なし

該当なし

その他の不燃物（複合素材製品・乾電池等）



◆調査地域別（浜中）

対象ごみ



段ボール



紙パック



紙製容器包装類



新聞・広告



汚れた新聞・広告



雑誌・本

該当なし

◆調査地域別（浜中）

その他紙（封筒・OA紙等）



紙おむつ・生理用品

ざつ紙類（ちり紙等）



衣類・布類



その他布製品



調理くず



手付かず食品



皮・ゴム製品



◆調査地域別（浜中）

木製品・剪定枝・草木



レジ袋



汚れたプラスチック製容器包装類



容器包装以外のプラ類(その他プラ製品全般)



ペットボトル



プラスチック製容器包装類



容器包装以外のプラ類（ごみ袋）



その他の可燃物（乾燥剤・煙草の吸殻等）



◆調査地域別（浜中）

空き缶（飲食料用）

該当なし

ガラスびん（飲食料用）

該当なし

その他の不燃物（複合素材製品・乾電池等）

該当なし

空き缶以外の金属類



びん以外のガラス・陶磁器

該当なし

## (2) 燃えないごみ

### ◆調査状況（代表）



#### 調査対象ごみ

ごみ袋ごとの重量を計測

#### 破袋作業

ごみ袋を破袋する。その時点で、小型家電品や傘など、比較的大きいものを仕分けておく。



#### 仕分け・計測作業

分類する区分ごとに仕分け、一定量の分類ができた時点で計量（容積・重量）する。



◆ごみステーション状況（排出状況）※代表

調査地域：里見



調査地域：新庄



調査地域：浜中

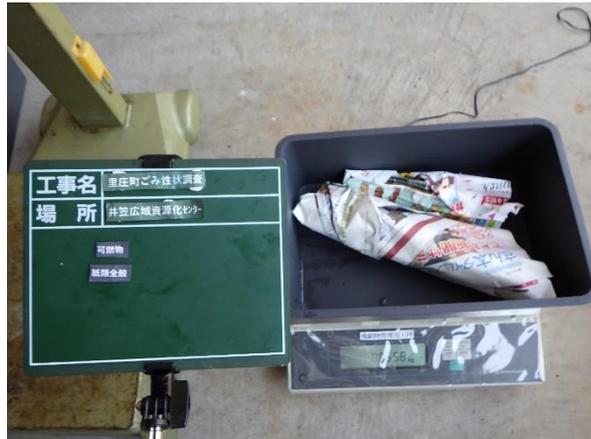


◆調査地域別（里見）※写真は代表的なもの

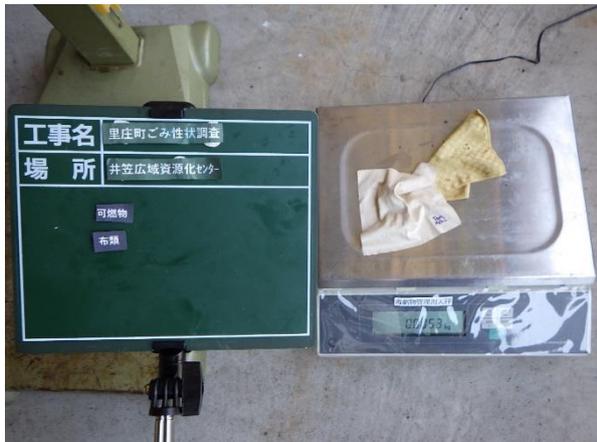
対象ごみ



紙類全般



衣類・布類



調理くず・手付かず食品

該当なし

皮・ゴム製品



木製品・剪定枝・草、花など

該当なし

ペットボトル

プラスチック製容器包装類（レジ袋含む）

該当なし

該当なし

◆調査地域別（里見）※写真は代表的なもの

汚れたプラスチック製容器包装類



容器包装以外のプラ類（ゴミ袋）



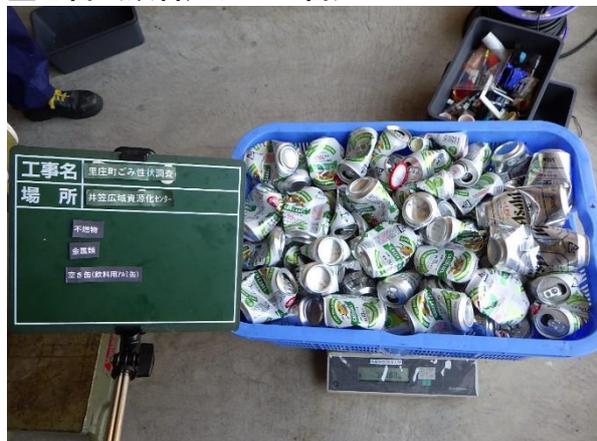
容器包装以外のプラ類(その他プラ製品全般)



その他の可燃物（乾燥剤・煙草の吸殻等）



空き缶（飲料用アルミ缶）



空き缶（飲料用スチール缶）



空き缶（食料用）



スプレー缶



◆調査地域別（里見）※写真は代表的なもの

小型電化製品



ガラスびん（一升びん）

その他の金属類



ガラスびん（飲料用）

該当なし



飲料用以外のびん・ガラス製品



陶磁器類



その他の不燃物（複合素材製品・乾電池等）



◆調査地域別（クレスト）※写真は代表的なもの

対象ごみ



衣類・布類



皮・ゴム製品



ペットボトル



紙類全般



調理くず・手付かず食品

該当なし

木製品・剪定枝・草、花など

該当なし

プラスチック製容器包装類（レジ袋含む）



◆調査地域別（クレスト）※写真は代表的なもの

汚れたプラスチック製容器包装類



容器包装以外のプラ類（ゴミ袋）



容器包装以外のプラ類(その他プラ製品全般)



その他の可燃物（乾燥剤・煙草の吸殻等）

該当なし

空き缶（飲料用アルミ缶）



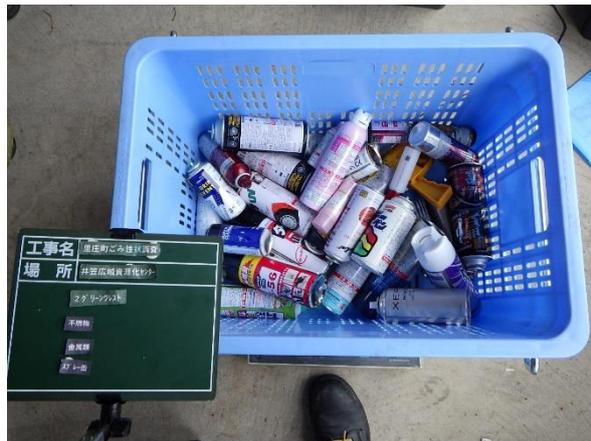
空き缶（飲料用スチール缶）



空き缶（食料用）



スプレー缶



◆調査地域別（クレスト）※写真は代表的なもの

小型電化製品



その他の金属類



ガラスびん（一升びん）



ガラスびん（飲食料用）



飲食料用以外のびん・ガラス製品



陶磁器類



その他の不燃物（複合素材製品・乾電池等）



◆調査地域別（新庄）※写真は代表的なもの

対象ごみ



衣類・布類

該当なし

皮・ゴム製品

該当なし

ペットボトル

該当なし

紙類全般



調理くず・手付かず食品



木製品・剪定枝・草、花など

該当なし

プラスチック製容器包装類（レジ袋含む）



◆調査地域別（新庄）※写真は代表的なもの

汚れたプラスチック製容器包装類



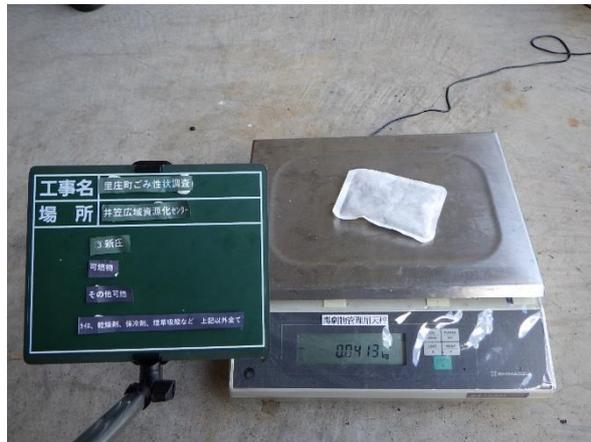
容器包装以外のプラ類（ゴミ袋）



容器包装以外のプラ類(その他プラ製品全般)



その他の可燃物（乾燥剤・煙草の吸殻等）



空き缶（飲料用アルミ缶）



空き缶（飲料用スチール缶）



空き缶（食料用）



スプレー缶



◆調査地域別（新庄）※写真は代表的なもの

小型電化製品



ガラスびん（一升びん）

その他の金属類



ガラスびん（飲料用）

該当なし



飲食料用以外のびん・ガラス製品



陶磁器類



その他の不燃物（複合素材製品・乾電池等）



◆調査地域別（浜中）※写真は代表的なもの

対象ごみ



衣類・布類

紙類全般



調理くず・手付かず食品

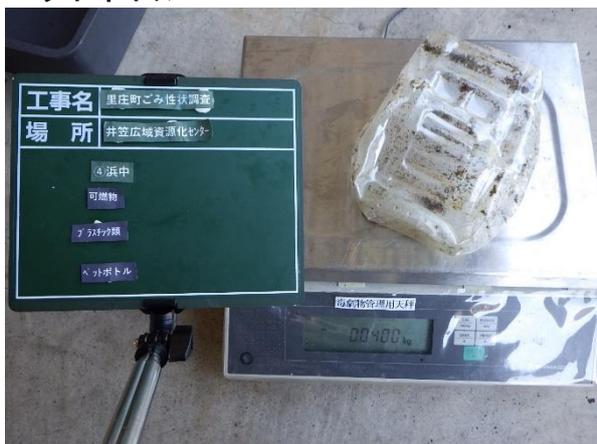
該当なし

該当なし

皮・ゴム製品



ペットボトル



木製品・剪定枝・草、花など



プラスチック製容器包装類（レジ袋含む）



◆調査地域別（浜中）※写真は代表的なもの

汚れたプラスチック製容器包装類



容器包装以外のプラ類（ゴミ袋）



容器包装以外のプラ類(その他プラ製品全般)



その他の可燃物（乾燥剤・煙草の吸殻等）

該当なし

空き缶（飲料用アルミ缶）



空き缶（飲料用スチール缶）



空き缶（食料用）



スプレー缶



◆調査地域別（浜中）※写真は代表的なもの

小型電化製品



ガラスびん（一升びん）

その他の金属類



ガラスびん（飲料用）

該当なし



飲料用以外のびん・ガラス製品



陶磁器類



その他の不燃物（複合素材製品・乾電池等）

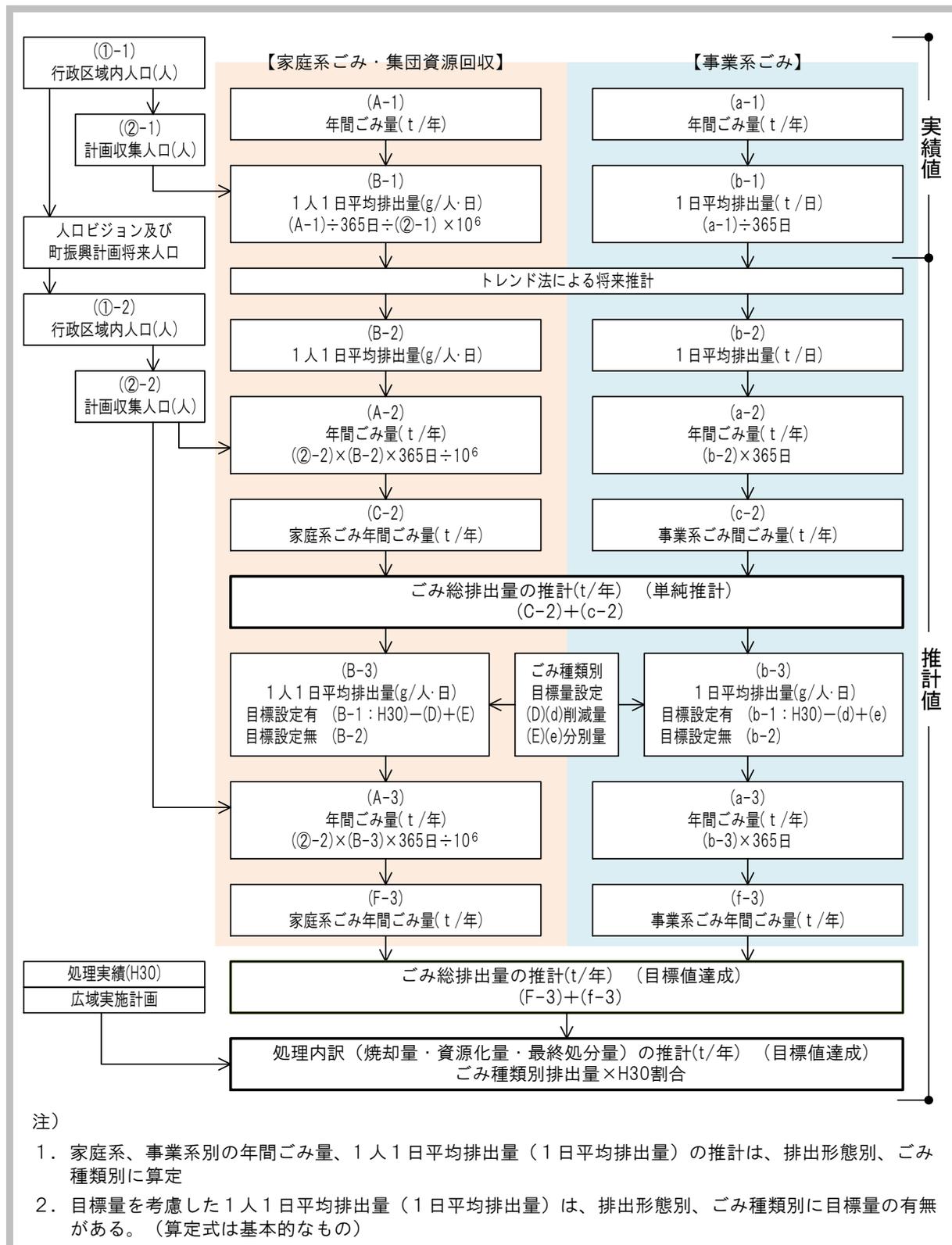


## 第2節 ごみ排出量等の将来見込み

### 1. 将来見込みの算出手順

本計画における人口及びごみ排出量の将来見込みは、図表 2-1 に示す手順で算出しました。

◆図表 2-1 人口及びごみ排出量の将来見込みの算出手順



## 2. 行政区域内人口の推計

### (1) 里庄町振興計画（基本構想）の将来人口

平成 23 年 3 月に策定した「第 3 次里庄町振興計画（基本構想）」における将来人口は、国立社会保障・人口問題研究所の平成 20 年 12 月推計による将来推計人口 10,241 人(R2)を参考に、若者定住対策等を勘案したうえで、令和 2 年度（目標年度）で 10,800 人とされています。

第 3 次振興計画は令和 2 年度が最終年度となっており、これ以降の将来人口の見込みはありません。新たな将来人口については、本年度策定中の第 4 次里庄町振興計画において令和 11 年度（目標年度）11,220 人を目標とする見込みです。

### (2) 西部ブロックごみ処理広域化実施計画の将来見込み値

ごみ処理広域化対策西部ブロック協議会では、広域処理施設の施設規模を検討する前提条件となる行政区域内人口について、西部ブロックごみ処理広域化実施計画（H26.3）（以下「実施計画」という。）において検討・設定しています。具体的には、過去 10 年間（H14 年度～H22 年度）の住民基本台帳 10/1 付人口（外国人を除く）を基にトレンド法により推計し、将来人口は平成 31 年度（令和元年度）を 11,016 人、令和 6 年度を 11,002 人、令和 11 年度を 10,988 人としています。

### (3) 人口ビジョンの将来見込み値

平成 27 年度に策定している人口ビジョンについて、第 4 次里庄町振興計画の策定に向けて令和元年度に見直ししています。この人口ビジョンでは、国立社会保障・人口問題研究所の推計を基に、出生率の改善、社会移動人口の維持などの独自推計による人口の将来見込みを行い、施策効果を勘案した推計では、将来人口は令和 47 年の目標人口を 9,972 人とし、令和 7 年では 11,245 人、令和 11 年では 11,220 人としています。

### (2) 西部ブロックごみ処理広域化実施計画の将来見込み値

ごみ処理広域化対策西部ブロック協議会では、広域処理施設の施設規模を検討する前提条件となる行政区域内人口について、西部ブロックごみ処理広域化実施計画（H26.3）（以下「実施計画」という。）において検討・設定しています。具体的には、過去 10 年間（H14 年度～H22 年度）の住民基本台帳 10/1 付人口（外国人を除く）を基にトレンド法により推計し、将来人口は平成 31 年度（令和元年度）を 11,016 人、令和 6 年度を 11,002 人、令和 11 年度を 10,988 人としています。

### (3) 本計画における将来人口

既定計画（H27.3 策定）では実施計画との整合に配慮するため、同様の手法（住民基本台帳 10/1 付人口（外国人を除く）を基にしたトレンド法）で独自に推計を行っています。

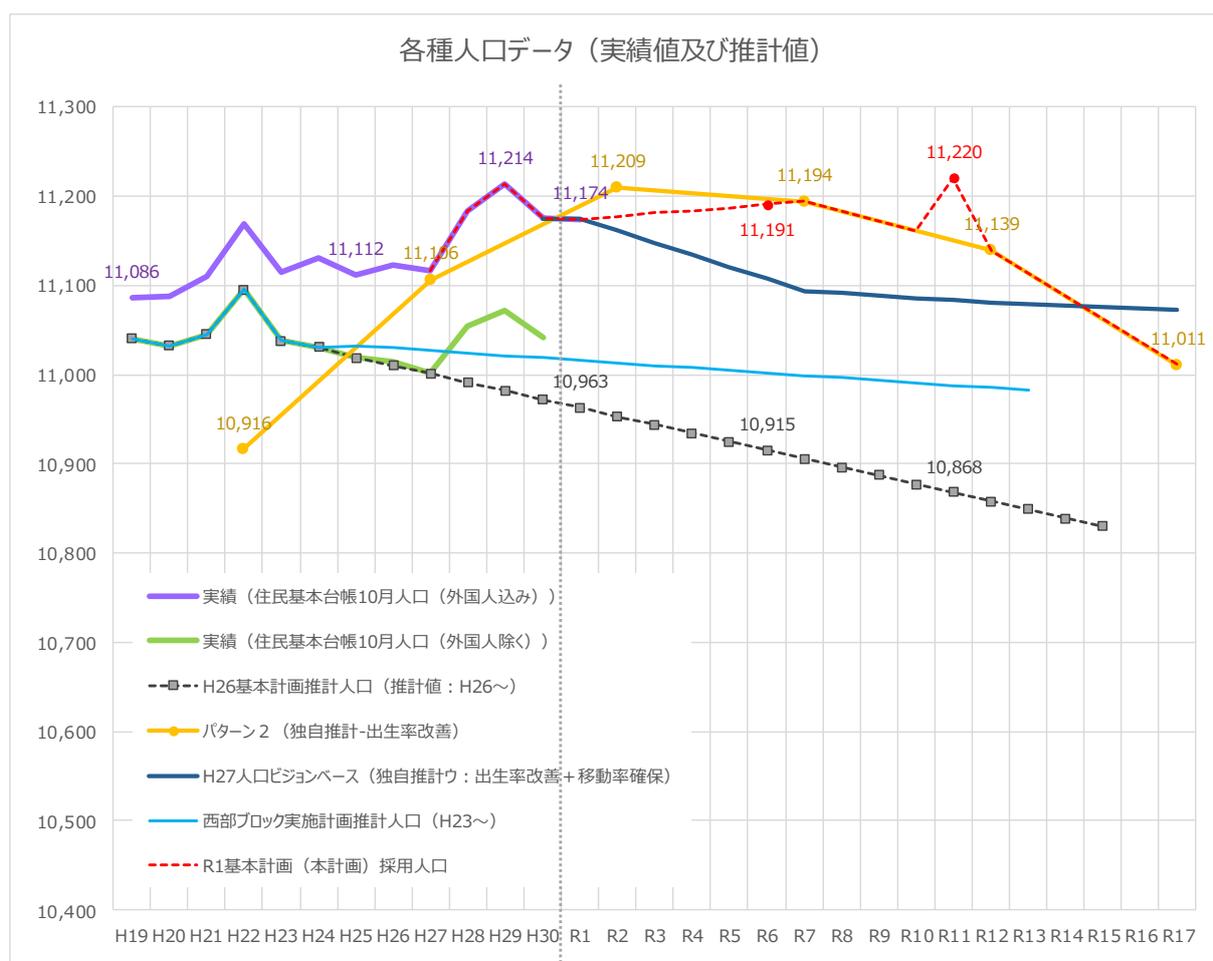
本計画では、以下の理由により実績値は住民基本台帳 10/1 付人口（外国人を含む）とし、将来人口は人口ビジョン（R1 改訂版）の独自推計値を採用しました。ただし、人口ビ

ジョン見直しの最終稿確定が本計画よりも後となったため、独自推計値は途中段階の値を採用しており、令和 11 年度人口のみ上位計画である第4次里庄町振興計画の目標人口（11,220 人）に整合させるものとなりました。

（採用理由）

- ✓ 平成 24 年度から住民基本台帳に外国人を含むようになり、様々な計画において外国人を含む人口の採用が多くなったこと。
- ✓ 振興計画等の上位計画において人口ビジョンの人口が採用される事例が増えており、他の計画での人口との整合性に配慮できること。
- ✓ 他計画等の推計人口は減少傾向となっているが、実績人口はどちらかと言えば増加しており、大きく減少する推計人口を採用した場合、実態との乖離が大きくなると予想されたこと。

◆図表 2-2 振興計画・実施計画による将来人口と本計画における将来人口



注1：5年ごとの推計値である人口ビジョンについて、推計値の無い年度の人口は直線補間を行った。

注2：人口ビジョンの直近推計値は令和2年度であるが、最新年度実績値からの推移は令和7年度推計値まで直線的に減少するものとした。

### 3. ごみ排出量の将来推計（単純推計）

家庭系ごみについては、ごみ種類別の1人1日平均排出量を原単位とし、これを将来推計したうえで、行政区域内人口の将来推計結果を乗じることにより、収集ごみ排出量の将来推計値（単純推計）としました。

また、事業系ごみは、1日平均排出量を原単位とし、これを将来推計することによりごみ排出量の将来推計値（単純推計）としました。

なお、将来推計は、過去の実績値の推移を勘案して、適宜、適切な方法を選択しました（図表2-3）。

#### 家庭系ごみ・集団資源回収

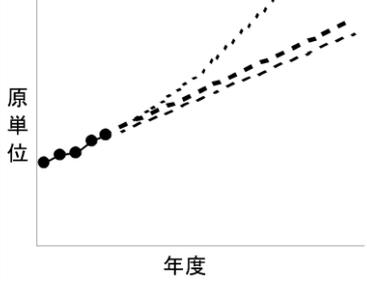
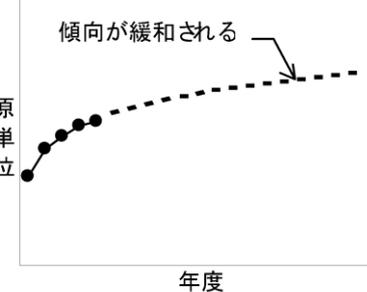
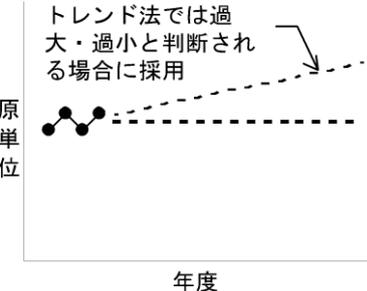
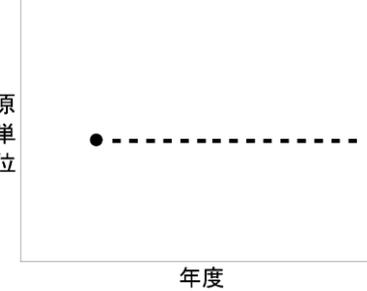
$$\begin{aligned} \text{原単位} &= 1 \text{人} 1 \text{日} \text{あたりごみ排出量} (\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}) \\ &= \text{年間排出量} (\text{t}/\text{年}) \div \text{計画収集人口} (\text{人}) \div 365 (\text{日}) \times 10^6 \end{aligned}$$

#### 事業系ごみ

$$\begin{aligned} \text{原単位} &= 1 \text{日} \text{平均排出量} (\text{t}/\text{日}) \\ &= \text{年間排出量} (\text{t}/\text{年}) \div 365 (\text{日}) \end{aligned}$$

単純推計による将来見込みは、図表2-4に示すとおりです。

◆図表 2-3 採用する推計方法の考え方

推計方法	考え方
最小二乗法 等差級数法 等比級数法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 増加や減少が安定した傾向を示し、推計対象物の性格や他事例から今後もこの傾向が続くと考えられる場合に採用します。</li> <li>○ 過大過小とならないよう、3方法の中位を採用します。</li> </ul> 
対数回帰法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 増加や減少傾向が徐々に緩和される傾向を示し、今後もこの傾向が続くと判断できる場合に採用します。</li> <li>○ 前出の推計は、直線的に増減するため、長期的にみると過大となったり、減少傾向の場合にゼロとなったりする場合がありますが、こうしたことは起こり得ないと判断できる場合等に採用します。</li> </ul> 
平均	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長期的には横ばい傾向で、各年では増減を繰り返しているような場合で、最小二乗法では実績値を反映した推計が困難と判断される場合に採用します。</li> <li>○ 最新年のデータが増加している場合に増加傾向を示す推計となり、長期的に不合理となる場合があります。</li> </ul> 
指定年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 過去の実績値がない、あるいは分別区分の変更等により、将来推計を行ううえで参考とならないと判断される場合に最新年をもって将来推計値とする場合等に採用します。</li> </ul> 

◆図表2-4 ごみ排出量将来見込み(単純推計)【里庄町】

			← 実績 推計 →											数値目標年度					計画目標年度					備考		
年度			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11			
人口	行政区域内人口		[人]	11,110	11,169	11,115	11,131	11,112	11,123	11,117	11,183	11,214	11,175	11,174	11,177	11,181	11,184	11,187	11,191	11,194	11,183	11,172	11,161	11,220	資料1	
	計画処理区域内人口		[人]	11,110	11,169	11,115	11,131	11,112	11,123	11,117	11,183	11,214	11,175	11,174	11,177	11,181	11,184	11,187	11,191	11,194	11,183	11,172	11,161	11,220		
家庭系収集ごみ	燃えるごみ (可燃ごみ)	計画収集人口	[人]	11,110	11,169	11,115	11,131	11,112	11,123	11,117	11,183	11,214	11,175	11,174	11,177	11,181	11,184	11,187	11,191	11,194	11,183	11,172	11,161	11,220		
		自家処理人口	[人]																							
	燃えないごみ (不燃ごみ)	計画収集人口	[人]	11,110	11,169	11,115	11,131	11,112	11,123	11,117	11,183	11,214	11,175	11,174	11,177	11,181	11,184	11,187	11,191	11,194	11,183	11,172	11,161	11,220		
		自家処理人口	[人]																							
	資源ごみ	計画収集人口	[人]	11,110	11,169	11,115	11,131	11,112	11,123	11,117	11,183	11,214	11,175	11,174	11,177	11,181	11,184	11,187	11,191	11,194	11,183	11,172	11,161	11,220		
		自家処理人口	[人]																							
粗大ごみ	計画収集人口	[人]	11,110	11,169	11,115	11,131	11,112	11,123	11,117	11,183	11,214	11,175	11,174	11,177	11,181	11,184	11,187	11,191	11,194	11,183	11,172	11,161	11,220			
	自家処理人口	[人]																								
家庭系ごみ	燃えるごみ (可燃ごみ)	年間ごみ量	[t/年]	2,080	2,064	2,087	2,076	2,099	2,100	2,068	2,000	1,938	1,879	1,854	1,832	1,810	1,796	1,781	1,767	1,756	1,741	1,730	1,719	1,716		
		一日ごみ量	[t/日]	5.70	5.65	5.72	5.69	5.75	5.75	5.67	5.48	5.31	5.15	5.08	5.02	4.96	4.92	4.88	4.84	4.81	4.77	4.74	4.71	4.70		
		原単位	[g/人/日]	512.9	506.3	514.4	511.0	517.5	517.3	509.6	490.0	473.5	460.7	454.2	448.7	444.0	439.8	436.1	432.7	429.6	426.7	424.1	421.6	419.3	資料2	
		年間ごみ量	[t/年]	174	176	168	165	157	154	150	143	119	154	153	150	146	146	142	142	139	139	135	135	131		
		一日ごみ量	[t/日]	0.48	0.48	0.46	0.45	0.43	0.42	0.41	0.39	0.33	0.42	0.42	0.41	0.40	0.40	0.39	0.39	0.38	0.38	0.37	0.37	0.36		
		原単位	[g/人/日]	42.9	43.2	41.4	40.6	38.7	37.9	37.0	35.0	29.1	37.8	37.3	36.8	36.2	35.7	35.2	34.7	34.3	33.8	33.3	32.8	32.4	資料3	
	資源ごみ	年間ごみ量	[t/年]	200	199	186	181	183	175	176	171	235	257	263	266	270	274	277	281	285	288	288	292	296		
		原単位	[g/人/日]	49.3	48.8	45.8	44.6	45.1	43.1	43.4	41.9	57.4	63.0	64.3	65.4	66.4	67.3	68.1	68.9	69.6	70.2	70.8	71.3	71.8	資料4	
	プラザ搬入分	年間ごみ量	[t/年]									235	95	97	98	100	101	102	104	105	106	106	108	109	H30の比率	
		一日ごみ量	[t/日]									0.64	0.26	0.27	0.27	0.27	0.28	0.28	0.29	0.29	0.29	0.29	0.30	0.30		
		原単位	[g/人/日]									57.4	23.3	23.8	24.0	24.5	24.7	25.0	25.5	25.7	26.0	26.0	26.5	26.6		
	直接資源化分	年間ごみ量	[t/年]									162	166	168	170	173	175	177	180	182	182	184	187	H30の比率		
		一日ごみ量	[t/日]									0.44	0.45	0.46	0.47	0.47	0.48	0.48	0.49	0.50	0.50	0.50	0.51			
		原単位	[g/人/日]									39.7	40.7	41.2	41.7	42.4	42.9	43.3	44.1	44.6	44.6	45.2	45.7			
	粗大ごみ	年間ごみ量	[t/年]	33	34	31	23	18	14	17	19	34	4	15	15	15	15	15	15	15	11	11	11	11		
		一日ごみ量	[t/日]	0.09	0.09	0.08	0.06	0.05	0.04	0.05	0.05	0.09	0.01	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03		
		原単位	[g/人/日]	8.1	8.3	7.6	5.7	4.4	3.4	4.2	4.7	8.3	1.0	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	3.2	3.2	3.1	3.0	3.0	3.0	資料5	
	収集ごみ計	年間ごみ量	[t/年]	2,487	2,473	2,472	2,445	2,457	2,443	2,411	2,333	2,326	2,294	2,285	2,263	2,241	2,231	2,215	2,205	2,195	2,179	2,164	2,157	2,154		
一日ごみ量		[t/日]	6.82	6.77	6.77	6.70	6.73	6.69	6.61	6.39	6.37	6.28	6.26	6.20	6.14	6.11	6.07	6.04	6.01	5.97	5.93	5.91	5.90			
原単位		[g/人/日]	613.3	606.6	609.3	601.8	605.8	601.7	594.2	571.6	568.3	562.4	560.3	554.7	549.1	546.5	542.5	539.8	537.2	533.8	530.7	529.5	526.0			
直接搬入ごみ	燃えるごみ (可燃ごみ)	年間ごみ量	[t/年]	250	124	154	156	199	195	192	173	190	209	215	223	230	234	237	241	245	248	248	252	256		
		一日ごみ量	[t/日]	0.69	0.34	0.42	0.43	0.55	0.53	0.53	0.47	0.52	0.57	0.59	0.61	0.63	0.64	0.65	0.66	0.67	0.68	0.68	0.69	0.70		
		原単位	[g/人/日]	61.7	30.4	38.0	38.4	49.1	48.0	47.3	42.4	46.4	51.2	52.8	54.5	56.0	57.1	58.2	59.1	59.9	60.7	61.3	62.0	62.5	資料6	
	燃えないごみ (不燃ごみ)	年間ごみ量	[t/年]	14	15	13																				
		原単位	[g/人/日]	3.5	3.7	3.2																				
	粗大ごみ	年間ごみ量	[t/年]				17	18	18	16	19	24	30	33	33	37	37	37	40	40	40	40	44	44		
一日ごみ量		[t/日]				0.05	0.05	0.05	0.04	0.05	0.07	0.08	0.09	0.09	0.10	0.10	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11	0.12	0.12			
原単位		[g/人/日]				4.2	4.4	4.4	3.9	4.7	5.9	7.4	7.9	8.4	8.7	9.1	9.3	9.6	9.8	10.0	10.2	10.4	10.6	資料7		
直接搬入ごみ計	年間ごみ量	[t/年]	264	139	167	173	217	213	208	192	214	239	248	256	267	271	274	281	285	288	288	296	300			
	一日ごみ量	[t/日]	0.73	0.38	0.46	0.48	0.60	0.58	0.57	0.52	0.59	0.65	0.68	0.70	0.73	0.74	0.75	0.77	0.78	0.79	0.79	0.81	0.82			
	原単位	[g/人/日]	65.1	34.1	41.2	42.6	53.5	52.5	51.3	47.0	52.3	58.6	60.8	62.8	65.4	66.4	67.1	68.8	69.8	70.6	70.6	72.7	73.3			
家庭系ごみ合計	年間ごみ量	[t/年]				2,618	2,674	2,656	2,619	2,525	2,540	2,533	2,533	2,519	2,508	2,502	2,489	2,486	2,480	2,467	2,452	2,453	2,454			
	一日ごみ量	[t/日]				7.18	7.33	7.27	7.18	6.91	6.96	6.93	6.94	6.90	6.87	6.85	6.82	6.81	6.79	6.76	6.72	6.72	6.72			
	原単位	[g/人/日]				644.4	659.3	654.2	645.4	618.6	620.6	621.0	621.1	617.5	614.5	612.9	609.6	608.6	607.0	604.4	601.3	602.1	599.2			
事業系ごみ	許可業者等搬入ごみ	燃えるごみ (可燃ごみ)	年間ごみ量	[t/年]	468	367	443	416	388	580	471	462	497	480	522	537	548	562	573	588	599	613	624	639	650	
		一日ごみ量	[t/日]	1.28	1.01	1.21	1.14	1.06	1.59	1.29	1.27	1.36	1.32	1.43	1.47	1.50	1.54	1.57	1.61	1.64	1.68	1.71	1.75	1.78		
		原単位	[g/人/日]	468	367	443	416	388	580	471	462	497	480	522	537	548	562	573	588	599	613	624	639	650	資料8	
	直接搬入ごみ	燃えるごみ (可燃ごみ)	年間ごみ量	[t/年]	137	164	164	116	141	6	145	152	160	151	172	175	179	186	190	193	197	204	208	212	219	
		一日ごみ量	[t/日]	0.38	0.45	0.45	0.32	0.39	0.02	0.40	0.42	0.44	0.41	0.47	0.48	0.49	0.51	0.52	0.53	0.54	0.56	0.57	0.58	0.60		
		原単位	[g/人/日]				116	141	6	145	152	160	151	172	175	179	186	190	193	197	204	208	212	219	資料9	
事業系ごみ合計	年間ごみ量	[t/年]				532	529	586	616	614	657	631	694	712	727	748	763	781	796	817	832	851	869			
	一日ごみ量	[t/日]				1.46	1.45	1.61	1.69	1.69	1.80	1.73	1.90	1.95	1.99	2.05	2.09	2.14	2.18	2.24	2.28	2.33	2.38			
	原単位	[g/人/日]				73.7	67.5	65.1	60.8	58.4	57.1	56.9	52.4	45.7	44.6	42.2	40.5	39.1	37.8	36.7	35.7	34.8	34.0	32.5	資料10	
排出量	燃えるごみ (可燃ごみ)	年間ごみ量	[t/年]				2,764	2,827	2,881	2,876	2,787	2,785	2,719	2,763	2,767	2,767	2,778	2,781	2,789	2,797	2,806	2,810	2,822	2,841		
		一日ごみ量	[t/日]				7.58	7.75	7.89	7.89	7.64	7.63	7.45	7.57	7.58	7.58	7.61	7.62	7.64	7.66	7.69	7.70	7.73	7.78		
		原単位	[g/人/日]				165	157	154	150	143	119	154	153	150	146	146	142	142	139	139	135	135	131		
	燃えないごみ (不燃ごみ)	年間ごみ量	[t/年]				165	157	154	150	143	119	154	153	150	146	146	142	142	139	139	135	135	131		
		一日ごみ量	[t/日]				0.45	0.43	0																	

資料1 行政区域内人口の推計結果 【 里庄町 】

実績（人）	
H22	11,169
H23	11,115
H24	11,131
H25	11,112
H26	11,123
H27	11,117
H28	11,183
H29	11,214
H30	11,175
R1	11,174

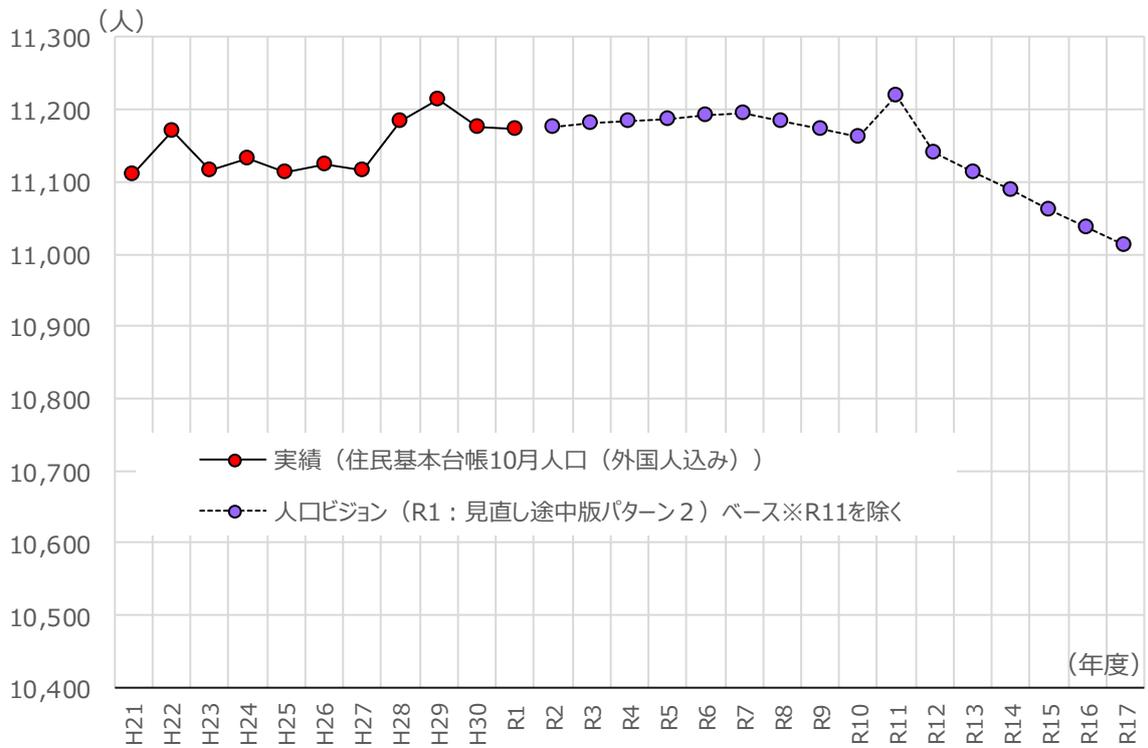
推計（人）							
R1	11,174						
R2	11,177						
R3	11,181		R8	11,183		R13	11,113
R4	11,184		R9	11,172		R14	11,088
R5	11,187		R10	11,161		R15	11,062
R6	11,191		R11	11,220		R16	11,037
R7	11,194		R12	11,139		R17	11,011

青文字 が人口ビジョンにおける推計値。

R1～R6：実績とR7推計値の直線補間

R8～R11、R13～R16：人口ビジョン推計値の直線補間。

ただし、R11は第4次里庄町振興計画の目標人口。



行政区域内人口の推計結果

家庭系収集ごみ(可燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

年 度	21	22	23	24	25
可燃ごみ原単位	512.9	506.3	514.4	511.0	517.5
前年差	-	-6.6	8.1	-3.4	6.5
前年比	-	0.98713	1.01600	0.99339	1.01272
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

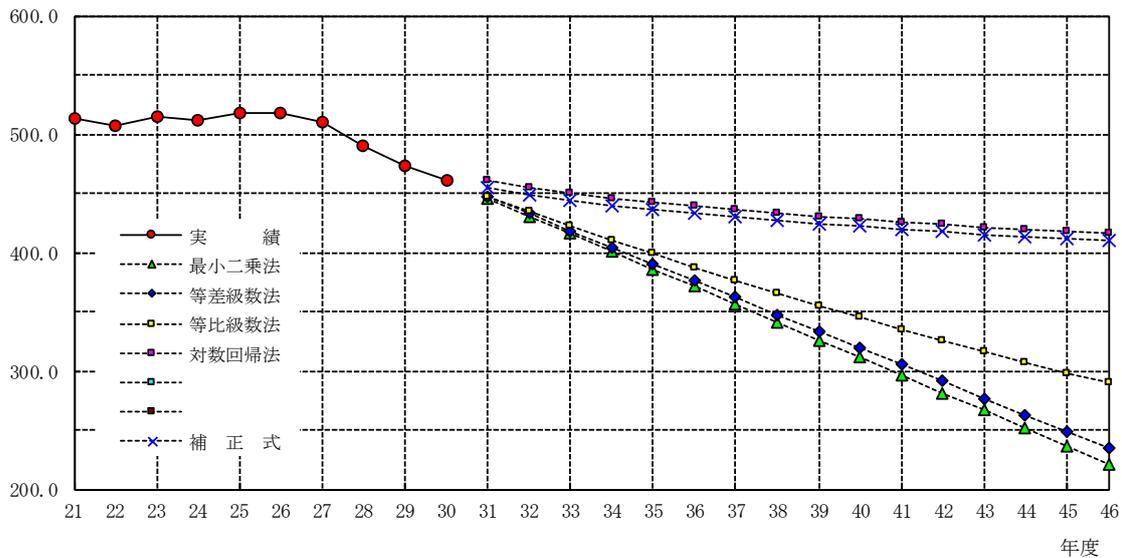
年 度	26	27	28	29	30
可燃ごみ原単位	517.3	509.6	490.0	473.5	460.7
前年差	-0.2	-7.7	-19.6	-16.5	-12.8
前年比	0.99961	0.98512	0.96154	0.96633	0.97297
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	H. 41	採用	相関係数
最小二乗法	$Y = 908.26 - 14.93 \times \text{平成年度}$	296.1		0.9932140
等差級数法	$Y = 460.7 - 14.15 \times (\text{平成年度} - 30)$	305.1		0.9932020
等比級数法	$Y = 460.7 \times 0.97145^{(\text{平成年度} - 30)}$	335.0		0.9922608
対数回帰法	$Y = 524.30 - 35.59 \times \ln(\text{平成年度} - 25)$	425.6	○	0.9514812
-	-	-		-
-	-	-		-
補正式	$Y = 524.30 - 35.59 \times \ln(\text{平成年度} - 25) - 6.3$	419.3	◎	-

(g/人・日)



家庭系収集ごみ(可燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

資料 3 家庭系収集ごみ(不燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果 【里庄町】

家庭系収集ごみ(不燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

年 度	21	22	23	24	25
不燃ごみ原単位	42.9	43.2	41.4	40.6	38.7
前年差	-	0.3	-1.8	-0.8	-1.9
前年比	-	1.00699	0.95833	0.98068	0.95320
採用データ	○	○	○	○	○

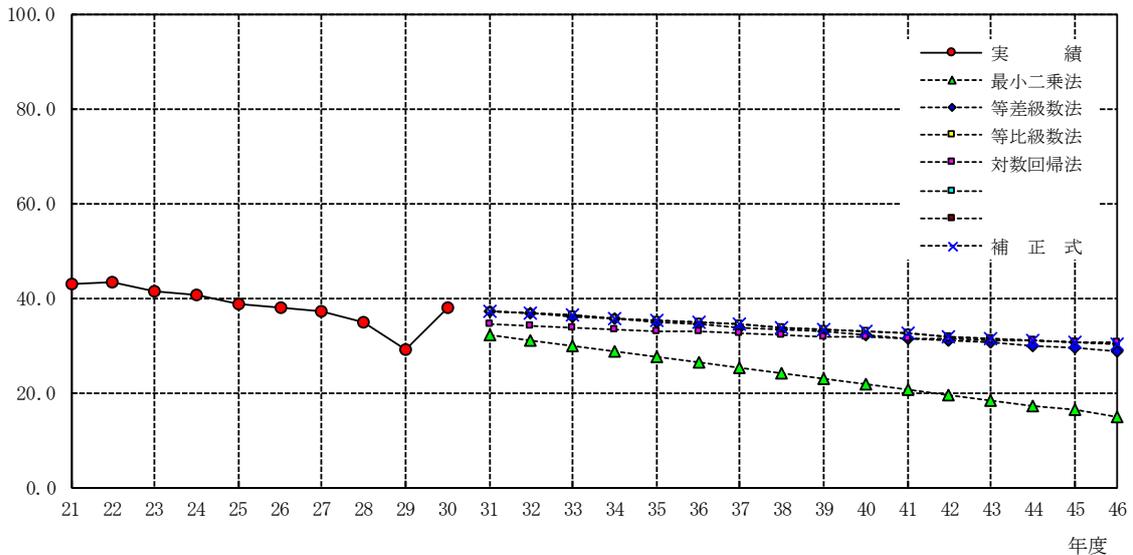
年 度	26	27	28	29	30
不燃ごみ原単位	37.9	37.0	35.0	29.1	37.8
前年差	-0.8	-0.9	-2.0	-5.9	8.7
前年比	0.97933	0.97625	0.94595	0.83143	1.29897
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	H. 41	採用	相関係数
最小二乗法	$Y = 67.45 - 1.14 \times \text{平成年度}$	20.7		0.8263290
等差級数法	$Y = 37.8 - 0.57 \times (\text{平成年度} - 30)$	31.5		0.8228837
等比級数法	$Y = 37.8 \times 0.98604^{(\text{平成年度} - 30)}$	32.4	○	0.8281829
対数回帰法	$Y = 45.15 - 4.50 \times \ln(\text{平成年度} - 20)$	31.4		0.7841560
-	-	-		-
-	-	-		-
補正式	$Y = 37.8 \times 0.98604^{(\text{平成年度} - 30)} + 0$	32.4	◎	-

(g/人・日)



家庭系収集ごみ(不燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

資料 4 家庭系収集ごみ(資源ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果 【里庄町】

家庭系収集ごみ(資源ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

年 度	21	22	23	24	25
資源ごみ原単位	49.3	48.8	45.8	44.6	45.1
前年差	-	-0.5	-3.0	-1.2	0.5
前年比	-	0.98986	0.93852	0.97380	1.01121
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	○

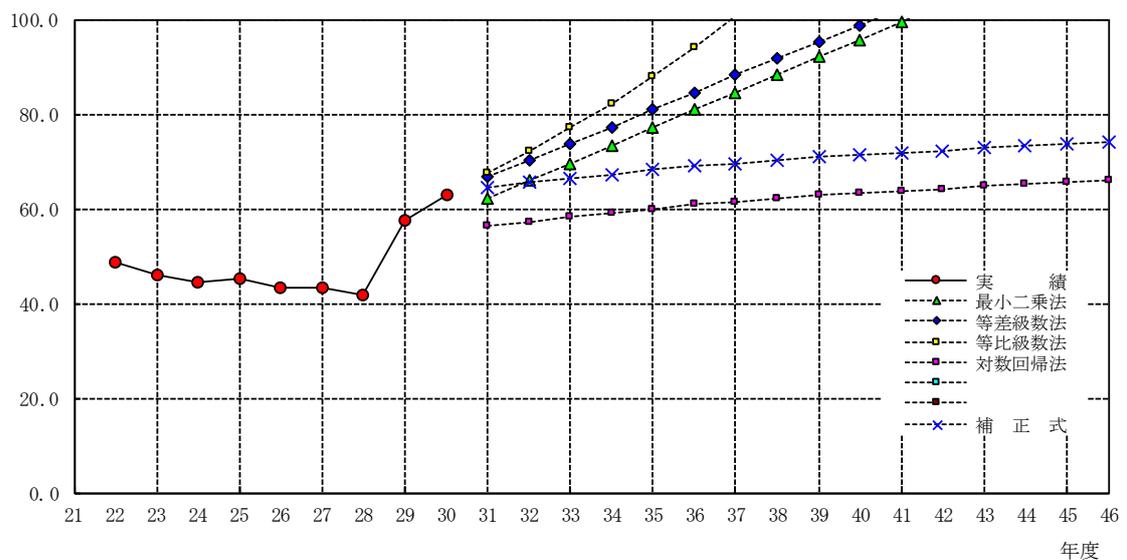
年 度	26	27	28	29	30
資源ごみ原単位	43.1	43.4	41.9	57.4	63.0
前年差	-2.0	0.3	-1.5	15.5	5.6
前年比	0.95565	1.00696	0.96544	1.36993	1.09756
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	H. 41	採用	相関係数
最小二乗法	$Y = -53.87 + 3.74 \times \text{平成年度}$	99.5		0.7816641
等差級数法	$Y = 63.0 + 3.58 \times (\text{平成年度} - 30)$	102.4		0.7843871
等比級数法	$Y = 63.0 \times 1.06914^{(\text{平成年度} - 30)}$	131.4		0.8089136
対数回帰法	$Y = 39.68 + 8.49 \times \ln(\text{平成年度} - 24)$	63.7	○	0.6316098
-	-	-		-
-	-	-		-
補正式	$Y = 39.68 + 8.49 \times \ln(\text{平成年度} - 24) + 8.1$	71.8	◎	-

(g/人・日)



家庭系収集ごみ(資源ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

家庭系収集ごみ(粗大ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

年 度	21	22	23	24	25
粗大ごみ原単位	8.1	8.3	7.6	5.7	4.4
前年差	-	0.2	-0.7	-1.9	-1.3
前年比	-	1.02469	0.91566	0.75000	0.77193
採用データ	不採用	不採用	不採用	○	○

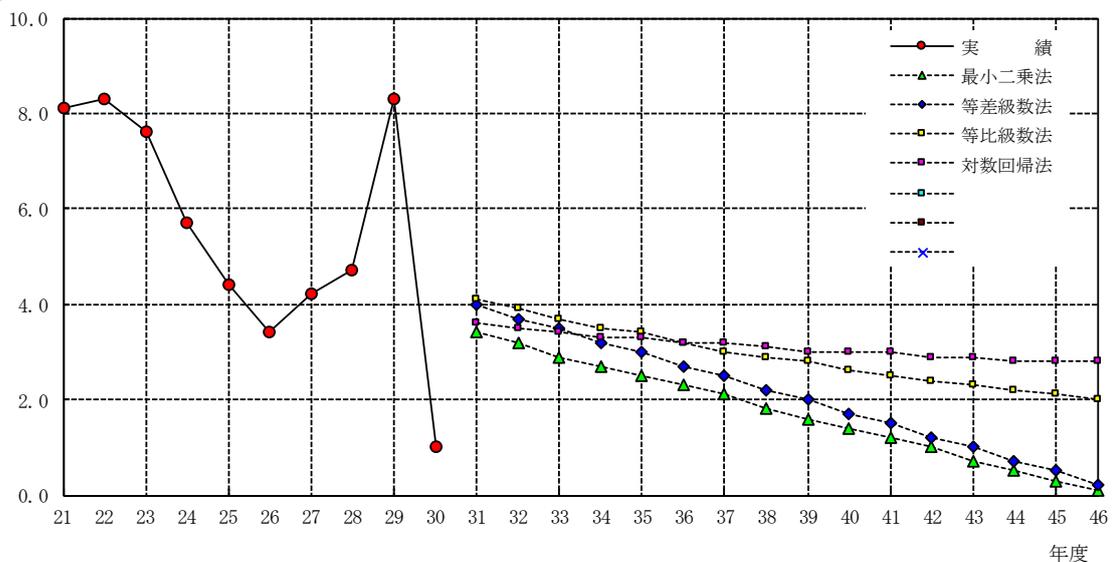
年 度	26	27	28	29	30
粗大ごみ原単位	3.4	4.2	4.7	8.3	1.0
前年差	-1.0	0.8	0.5	3.6	-7.3
前年比	0.77273	1.23529	1.11905	1.76596	0.12048
採用データ	○	○	○	不採用	不採用

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	H. 41	採用	相関係数
最小二乗法	$Y = 10.20 - 0.22 \times \text{平成年度}$	1.2		0.3583604
等差級数法	$Y = 4.7 - 0.25 \times (\text{平成年度} - 28)$	1.5		0.4020550
等比級数法	$Y = 4.7 \times 0.95292^{(\text{平成年度} - 28)}$	2.5		0.4292617
対数回帰法	$Y = 5.24 - 0.79 \times \ln(\text{平成年度} - 23)$	3.0	○	0.5831198
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-

(g/人・日)



家庭系収集ごみ(粗大ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

家庭系直接搬入ごみ(可燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

年 度	21	22	23	24	25
可燃ごみ原単位	61.7	30.4	38.0	38.4	49.1
前年差	-	-31.3	7.6	0.4	10.7
前年比	-	0.49271	1.25000	1.01053	1.27865
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

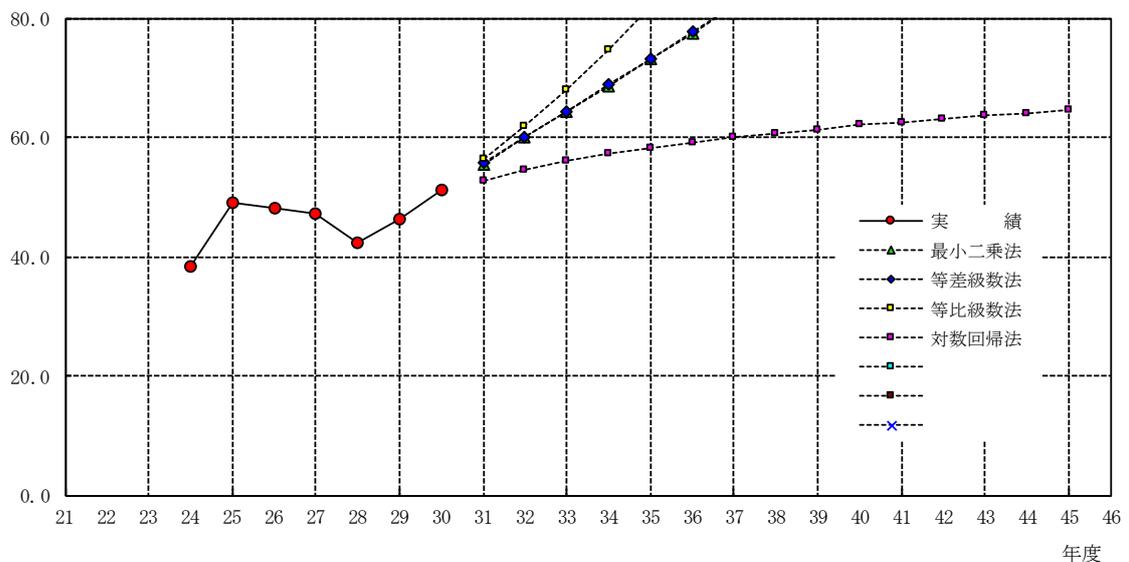
年 度	26	27	28	29	30
可燃ごみ原単位	48.0	47.3	42.4	46.4	51.2
前年差	-1.1	-0.7	-4.9	4.0	4.8
前年比	0.97760	0.98542	0.89641	1.09434	1.10345
採用データ	不採用	不採用	○	○	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	H. 41	採用	相関係数
最小二乗法	$Y = -80.93 + 4.40 \times \text{平成年度}$	99.5		0.9986254
等差級数法	$Y = 51.2 + 4.40 \times (\text{平成年度} - 30)$	99.6		0.9986254
等比級数法	$Y = 51.2 \times 1.09888^{(\text{平成年度} - 30)}$	144.5		0.9996568
対数回帰法	$Y = 42.03 + 7.77 \times \ln(\text{平成年度} - 27)$	62.5	○	0.9802504
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-

(g/人・日)



家庭系直接搬入ごみ(可燃ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

資料 7 家庭系直接搬入ごみ(粗大ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果 【里庄町】

家庭系直接搬入ごみ(粗大ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の実績

(g/人・日)

年 度	21	22	23	24	25
粗大ごみ原単位				4.2	4.4
前年差	-				0.2
前年比	-				1.04762
採用データ	データなし	データなし	データなし	不採用	不採用

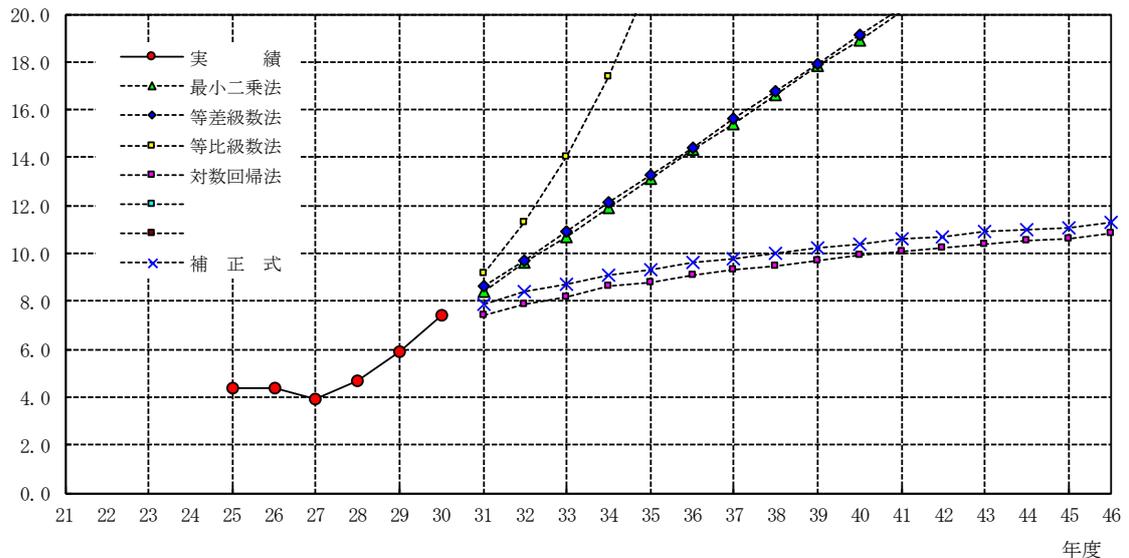
年 度	26	27	28	29	30
粗大ごみ原単位	4.4	3.9	4.7	5.9	7.4
前年差		-0.5	0.8	1.2	1.5
前年比	1.00000	0.88636	1.20513	1.25532	1.25424
採用データ	不採用	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	H. 41	採用	相関係数
最小二乗法	$Y = -27.87 + 1.17 \times \text{平成年度}$	20.1		0.9884557
等差級数法	$Y = 7.4 + 1.17 \times (\text{平成年度} - 30)$	20.3		0.9908407
等比級数法	$Y = 7.4 \times 1.23800^{(\text{平成年度} - 30)}$	77.5		0.9992886
対数回帰法	$Y = 3.57 + 2.40 \times \ln(\text{平成年度} - 26)$	10.1	○	0.9500097
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
補正式	$Y = 3.57 + 2.40 \times \ln(\text{平成年度} - 26) + 0.5$	10.6	◎	-

(g/人・日)



家庭系直接搬入ごみ(粗大ごみ) 1人1日当たりごみ排出量の推計結果

事業系許可業者等搬入ごみ(可燃ごみ) 1日平均排出量の実績

(t/日)

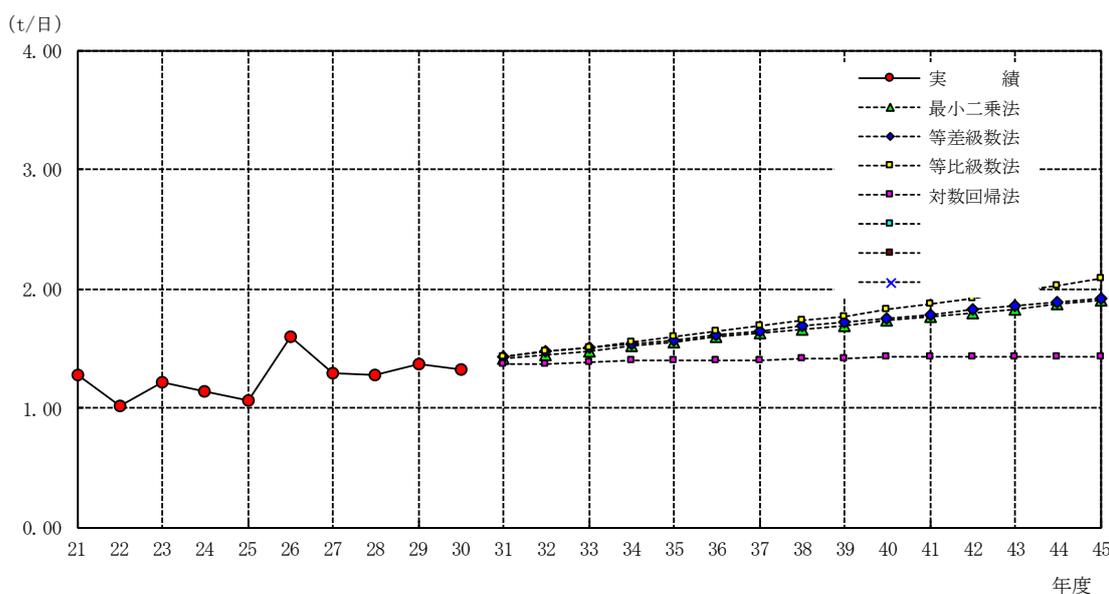
年 度	21	22	23	24	25
可燃ごみ1日排出量	1.28	1.01	1.21	1.14	1.06
前年差	-	-0.27	0.20	-0.07	-0.08
前年比	-	0.78906	1.19802	0.94215	0.92982
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

年 度	26	27	28	29	30
可燃ごみ1日排出量	1.59	1.29	1.27	1.36	1.32
前年差	0.53	-0.30	-0.02	0.09	-0.04
前年比	1.50000	0.81132	0.98450	1.07087	0.97059
採用データ	不採用	○	○	○	不採用

推計式及び推計結果

(t/日)

推計方法	推計式	H. 41	採用	相関係数
最小二乗法	$Y = 0.327 + 0.035 \times \text{平成年度}$	1.76		0.6828741
等差級数法	$Y = 1.36 + 0.035 \times (\text{平成年度} - 29)$	1.78	○	0.6828741
等比級数法	$Y = 1.36 \times 1.02677^{(\text{平成年度} - 29)}$	1.87		0.7933391
対数回帰法	$Y = 1.275 + 0.054 \times \ln(\text{平成年度} - 26)$	1.42		0.6586484
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-



事業系許可業者等搬入ごみ(可燃ごみ) 1日平均排出量の推計結果

事業系直接搬入ごみ(可燃ごみ) 1日平均排出量の実績

(t/日)

年 度	21	22	23	24	25
可燃ごみ1日排出量	0.38	0.45	0.45	0.32	0.39
前年差	-	0.07		-0.13	0.07
前年比	-	1.18421	1.00000	0.71111	1.21875
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	○

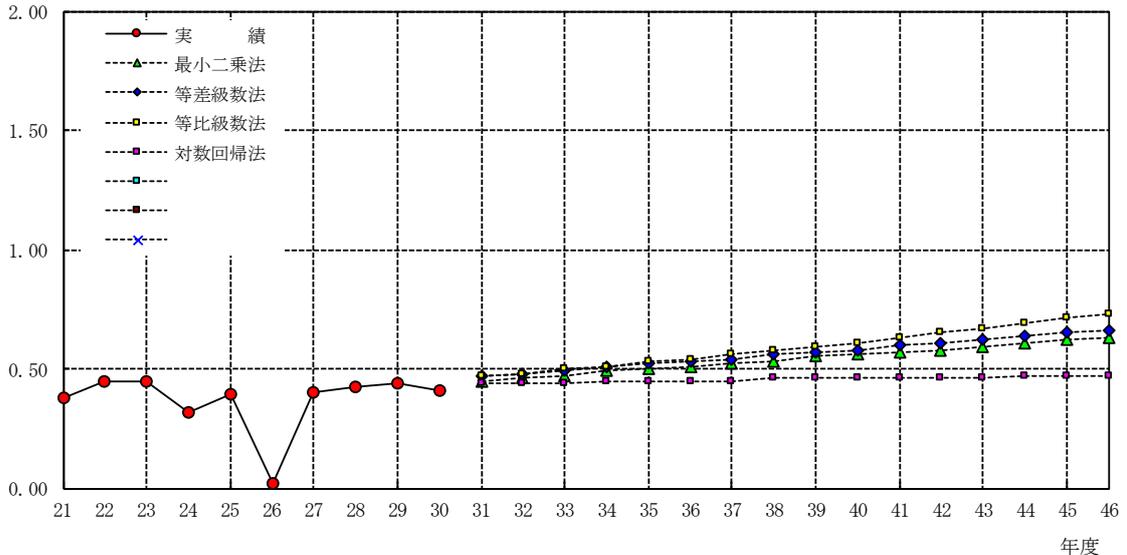
年 度	26	27	28	29	30
可燃ごみ1日排出量	0.02	0.40	0.42	0.44	0.41
前年差	-0.37	0.38	0.02	0.02	-0.03
前年比	0.05128	20.00000	1.05000	1.04762	0.93182
採用データ	不採用	○	○	○	不採用

推計式及び推計結果

(t/日)

推計方法	推計式	H. 41	採用	相関係数
最小二乗法	$Y = 0.078 + 0.012 \times \text{平成年度}$	0.57		0.9749135
等差級数法	$Y = 0.44 + 0.013 \times (\text{平成年度} - 29)$	0.60	○	0.9661017
等比級数法	$Y = 0.44 \times 1.03062^{(\text{平成年度} - 29)}$	0.63		0.9661017
対数回帰法	$Y = 0.385 + 0.027 \times \ln(\text{平成年度} - 24)$	0.46		0.9462555
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-

(t/日)



事業系直接搬入ごみ(可燃ごみ) 1日平均排出量の推計結果

表 10 集団回収量 一人一日平均排出量の推計結果 【 里庄町 】

集団回収量 一人一日平均排出量の実績

(g/人・日)

年 度	21	22	23	24	25
集団回収量原単位	73.7	67.5	65.1	60.8	58.4
前年差	-	-6.2	-2.4	-4.3	-2.4
前年比	-	0.91588	0.96444	0.93395	0.96053
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

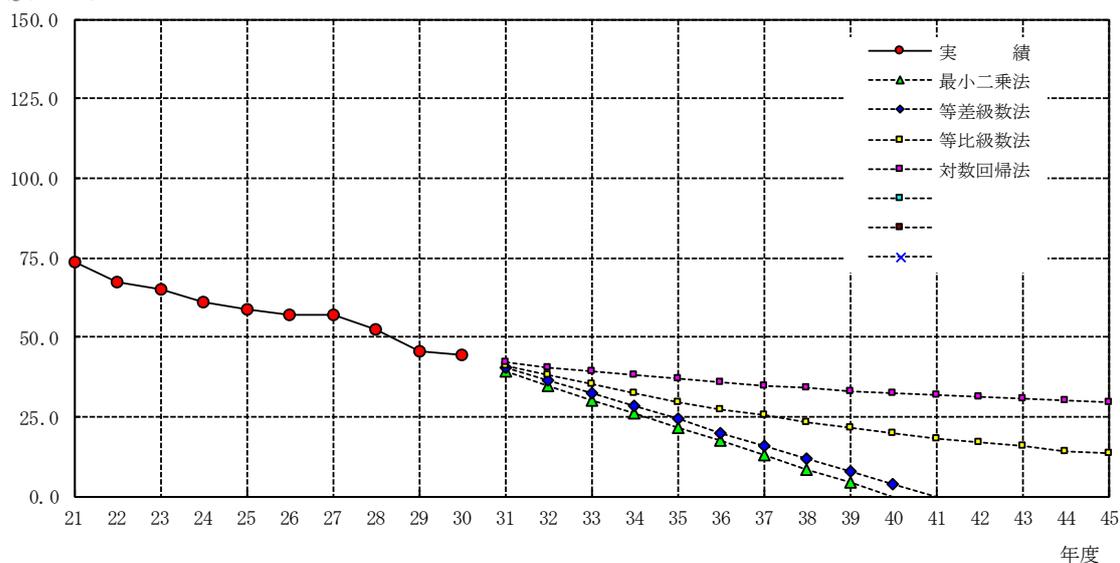
年 度	26	27	28	29	30
集団回収量原単位	57.1	56.9	52.4	45.7	44.6
前年差	-1.3	-0.2	-4.5	-6.7	-1.1
前年比	0.97774	0.99650	0.92091	0.87214	0.97593
採用データ	不採用	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(g/人・日)

推計方法	推計式	H. 41	採用	相関係数
最小二乗法	$Y = 174.16 - 4.36 \times \text{平成年度}$	-4.6		0.9709729
等差級数法	$Y = 44.6 - 4.10 \times (\text{平成年度} - 30)$	-0.5		0.9701833
等比級数法	$Y = 44.6 \times 0.92202^{(\text{平成年度} - 30)}$	18.3		0.9751972
対数回帰法	$Y = 57.40 - 9.43 \times \ln(\text{平成年度} - 26)$	31.9	○	0.9785796
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-

(g/人・日)



集団回収量 一人一日平均排出量の推計結果

#### 4. ごみ排出量の将来推計（目標値達成）

##### （1）発生・排出削減目標値等の設定

本計画における数値目標は、主に燃えるごみとして排出されているものに、発生・排出削減や再資源化が可能なごみがどの程度排出されているかを示し、その品目や排出量から目標値を設定するものとししました。（具体的な考え方は、本編 p26～p31 参照）

##### ①家庭系収集燃えるごみ

燃えるごみには、日常的に排出される生ごみ、紙類、古布、容器包装プラスチック類が排出されており、発生・排出削減対象品目と分別徹底品目に分類して設定しました。

なお、燃えるごみに排出される紙類は、収集資源ごみに半数が、集団資源回収に半数が分別徹底されるものとして設定しました。

対象物	発生排出削減 目標量	分別徹底 目標量①	分別徹底 目標量②	備 考
生ごみ	26 g			
紙類		14 g	14 g	紙類の半数は集団資源回収へ
古布		3 g		
ペットボトル		4 g		
プラスチック製容器		6 g		
合計	26 g	27 g	14 g	

※目標量は本編p29より

##### ②家庭系収集燃えないごみ

燃えないごみには、日常的に排出される容器包装プラスチック類、缶類、びん類が排出されており、再資源化対象品目に分類して設定しました。

対象物	発生排出削減 目標量	分別徹底 目標量①	分別徹底 目標量②	備 考
ペットボトル		0 g		1グラム未満でゼロとした。
缶類		2 g		
びん類		8 g		
合計	—	10 g	—	

※目標量は本編p30より

### ③数値目標年度における目標量

上記で設定した目標量が達成された場合の排出量（1人1日平均排出量）については、平成30年度実績値に対して加除し、数値目標年度である令和6年度の排出目標量としました。

ごみ種類	H30（実績値）	R6（目標値）	備考
家庭系収集 燃えるごみ	460.7 g	394.0 g	$\div 460.7 - 26 - 27 - 14$
家庭系収集 燃えないごみ	37.8 g	28.0 g	$\div 37.8 - 10$
家庭系収集 資源ごみ	63.0 g	100.0 g	$= 63.0 + 27 + 10$
集団資源回収	44.6 g	58.6 g	$\div 44.6 + 14$

### （2）目標値を達成した場合の将来見込み

前項に示した目標値を達成した場合の将来見込みは、図表2-5に示すとおりです。



## 5. 処理内訳

前項の目標を達成した場合のごみ排出量の将来見込み量に対し、焼却等による減量や選別等が行われた場合の処理内訳については、平成 30 年度の処理実績を前提に算定しました。

また、ごみ処理の広域化が行われた場合については、「西部ブロックごみ処理広域化実施計画（H26.3）」に基づき資源化量等を設定しました。

処理内訳の将来見込みは、図表 2-6 に示すとおりです。なお、同表に平成 30 年度実績による割合等を合わせて示しました。

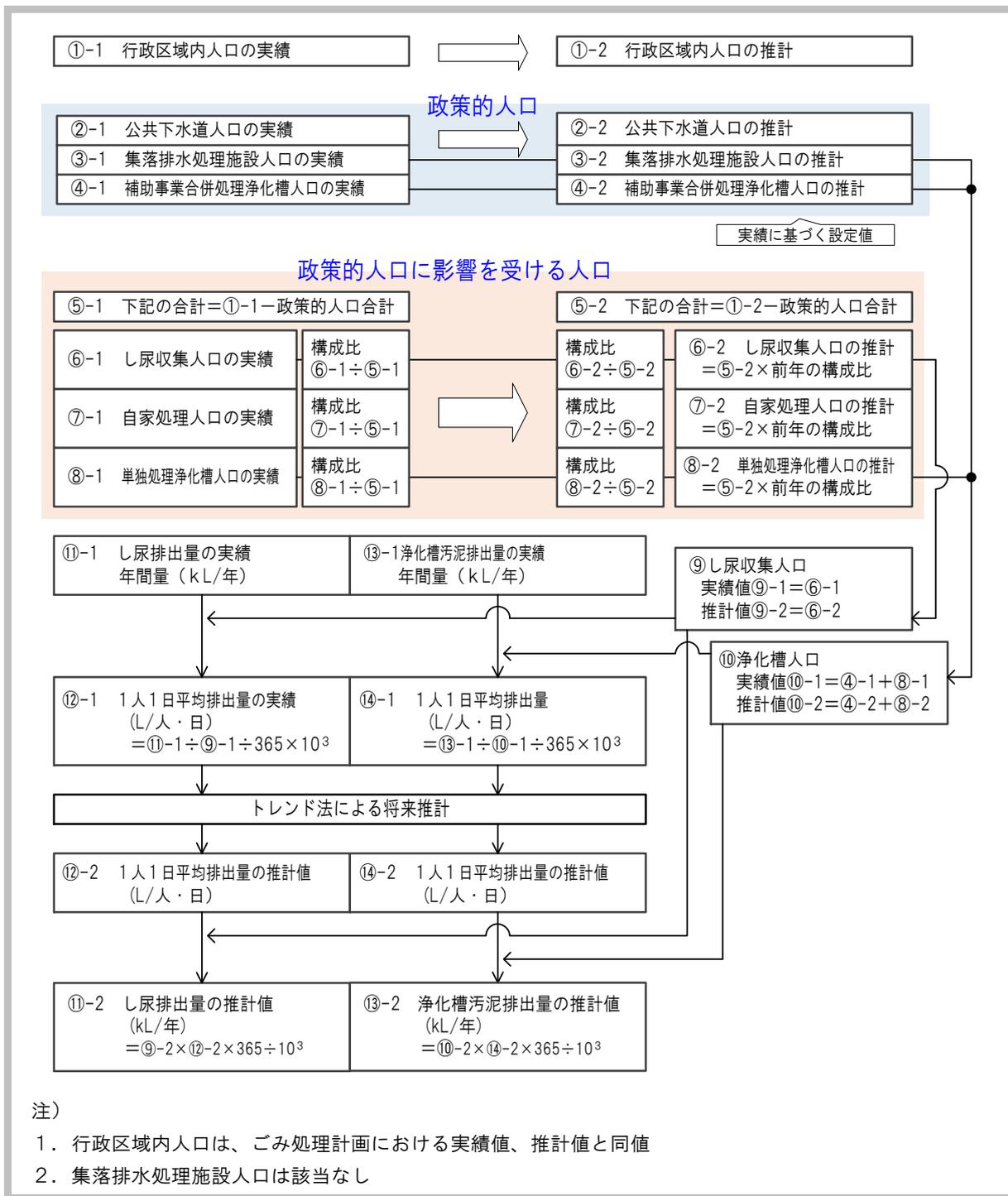


### 第3節 生活排水処理形態別人口及びし尿・浄化槽汚泥量の将来見込み

#### 1. 将来見込みの算出手順

本計画における生活排水処理形態別人口及びし尿・浄化槽汚泥量の将来見込みは、図表3-1に示す手順で算出しました。

◆図表 3-1 生活排水処理形態別人口及びし尿・浄化槽汚泥量の推計手順



## 2. 処理形態別人口

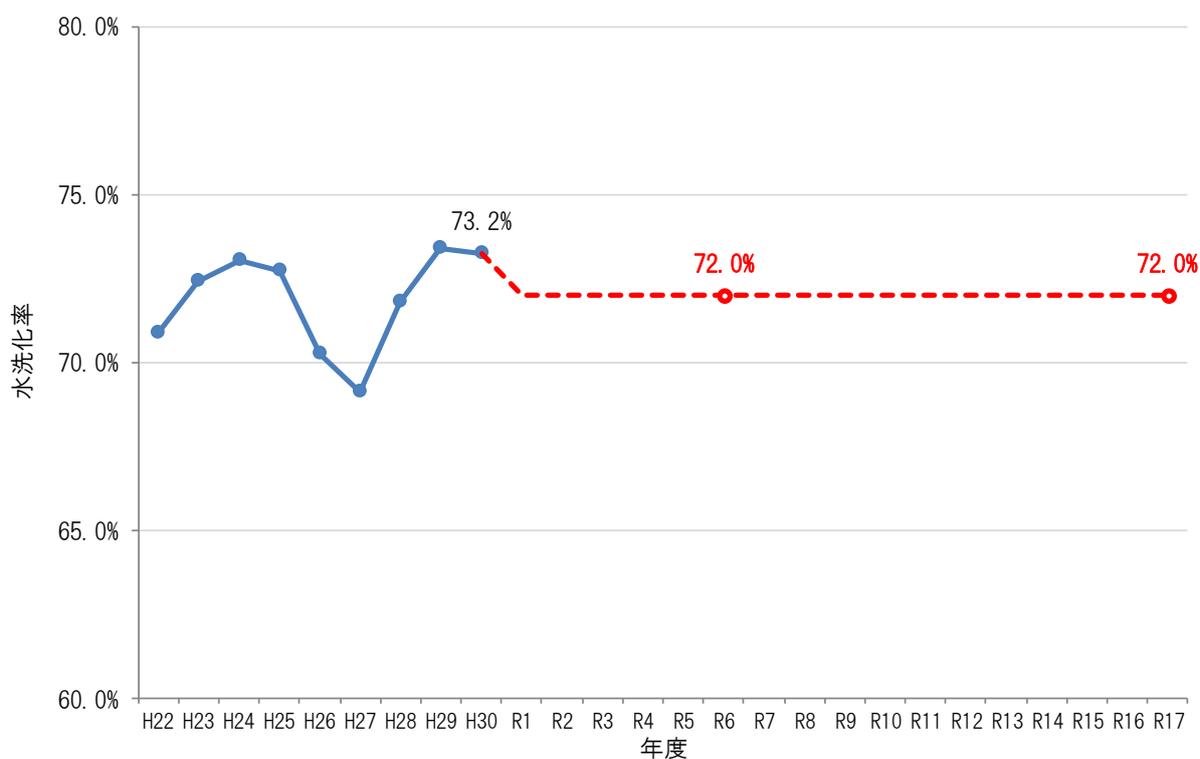
### (1) 公共下水道

公共下水道は、里庄町公共下水道事業計画に基づき事業を進めており、令和7年度と令和17年度がそれぞれ認可計画と全体計画の目標年次として処理人口が計画されています。

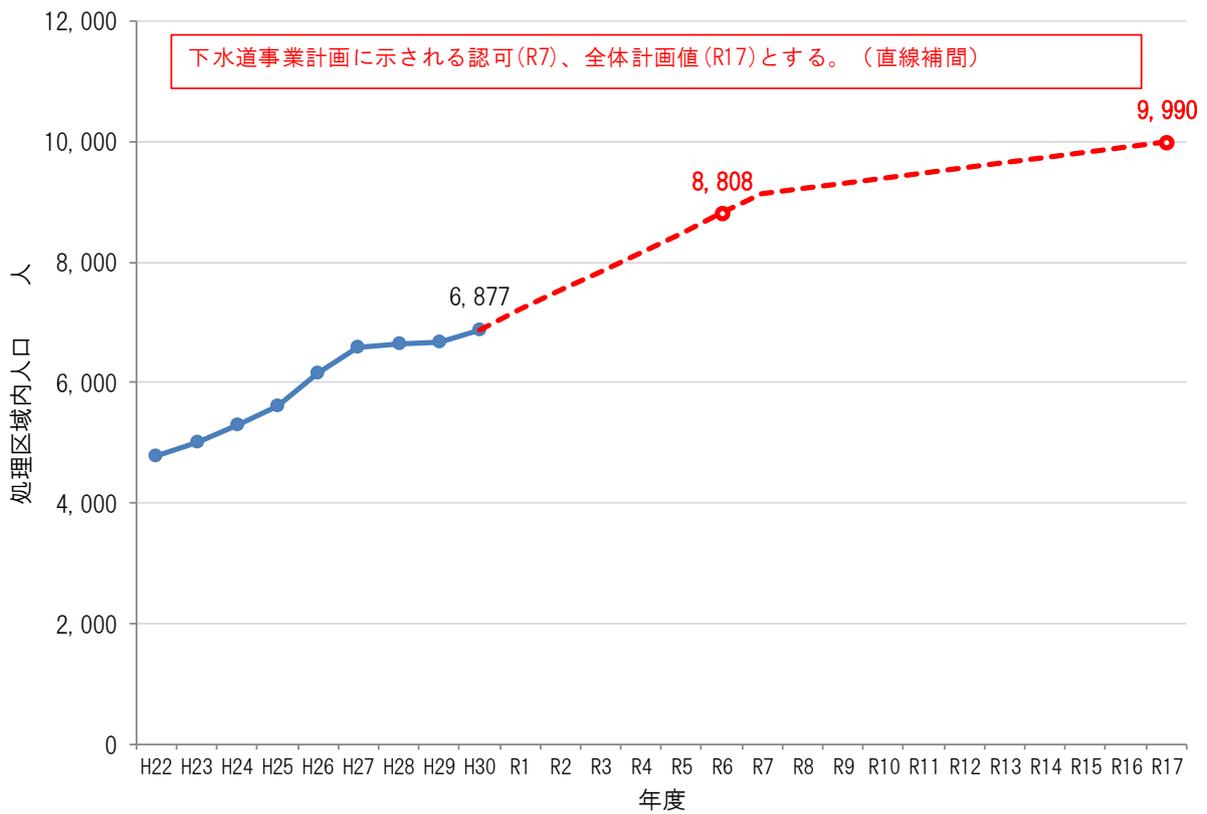
そこで、令和元年度以降の処理区域内人口の計画値については、各目標年次において里庄町公共下水道事業計画の処理人口に整合させ、目標年次間は直線補間するものとし、水洗化率を乗じることにより水洗化人口を設定しました。

なお、水洗化率は、近年は変動して推移しており、今後整備が進んでも大きく増加しないと判断し、平成22年度から平成30年度までの実績値の平均程度で推移するものとして設定しました。

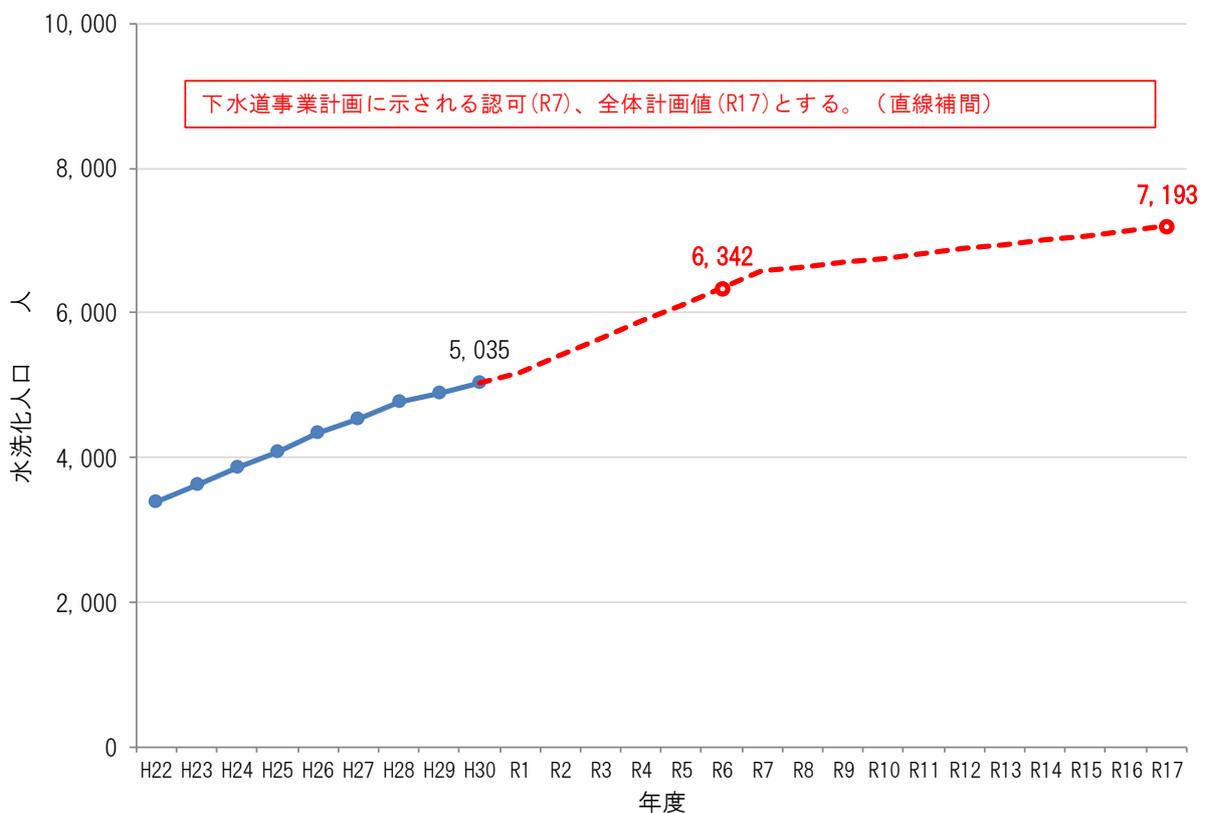
◆図表 3-2 公共下水道水洗化率



◆図表 3-3 公共下水道 計画処理区域内人口



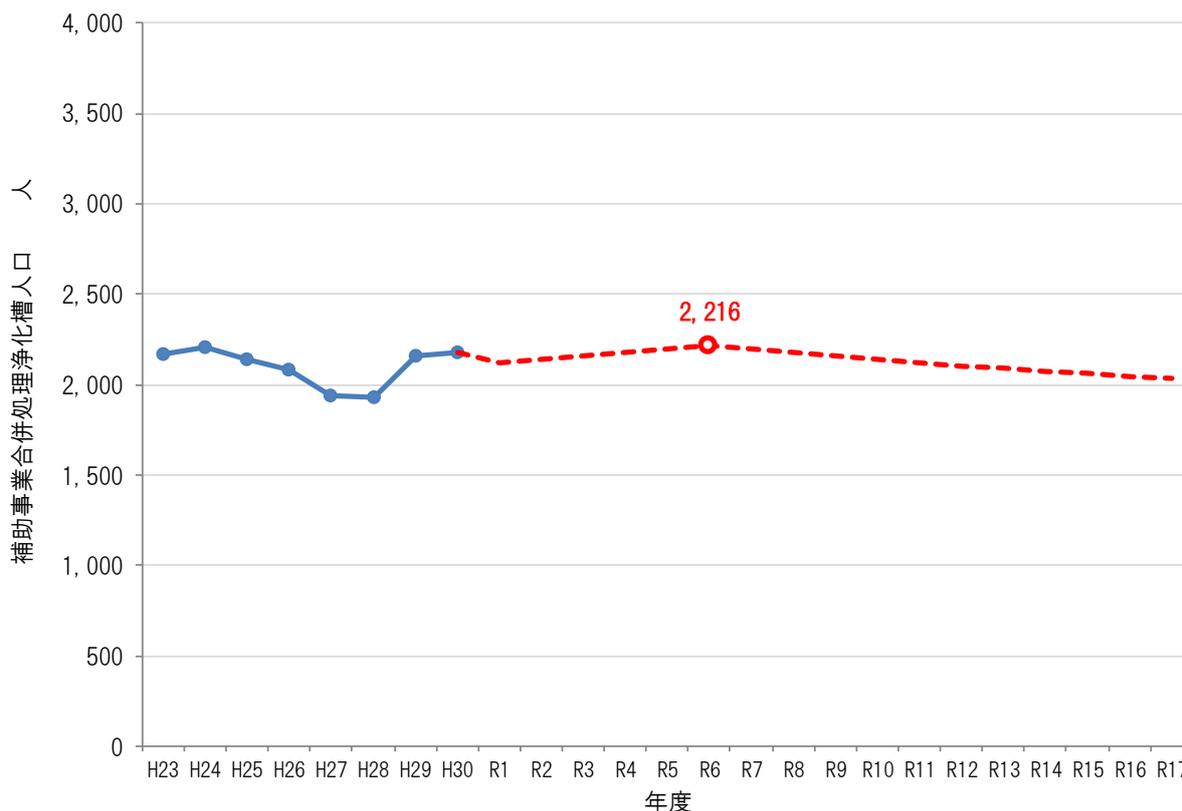
◆図表 3-4 公共下水道 水洗化人口



## (2) 補助事業合併処理浄化槽

補助事業による合併処理浄化槽人口の将来値は、直近5年における補助実績の平均値程度の補助が数値目標年度まで継続するものとして設定しました。ただし、人口減少等による浄化槽使用者の減少が見込まれるため、それを考慮した設定としました。具体的には、これまでの補助人口の累積値（整備人口）に対する実際の使用者（浄化槽人口）の率の実績値を算出し、対数回帰式によりトレンドを推計し、整備人口に乗じることとしました。

◆図表 3-5 補助事業合併処理浄化槽事業による浄化槽人口



## (3) 総括

公共下水道や補助事業による合併処理浄化槽の将来人口（政策的人口）は、政策により設定されます。一方、計画収集人口や自家処理人口、単独処理浄化槽人口は、政策的人口に相反して減少します。そこで、計画収集人口、自家処理人口、単独処理人口は、総人口から、下水道人口、合併処理浄化槽人口を差し引いた残りの人口となることを踏まえ、前年の構成比率を当該年度における政策的人口に影響を受ける人口の合計値に乗じることと設定しました。

政策的人口に影響を受ける人口	= 計画収集人口 + 自家処理人口 + 単独処理人口 = 行政区域内人口 - 下水道人口 - 合併処理浄化槽人口
計画処理人口	= 政策に影響される人口① × 前年度の構成比 (計画収集人口 ÷ ①)
自家処理人口	= 政策に影響される人口① × 前年度の構成比 (自家処理人口 ÷ ①)
単独処理浄化槽人口	= 政策に影響される人口① × 前年度の構成比 (単独人口 ÷ ①)

処理形態別人口の将来見込みは、後出の図表 3-6 に示します。

### 3. し尿及び浄化槽汚泥量

し尿及び浄化槽汚泥量については、1人1日平均排出量を原単位とし、これを将来推計したうえで、処理形態別人口の将来推計結果を乗じることにより、し尿等排出量の将来推計値としました。

なお、将来推計は、過去の実績値の推移を勘案して、適宜、適切な方法を選択しました（前出図表 2-3）。

し尿

$$\begin{aligned} \text{原単位} &= 1 \text{ 人 } 1 \text{ 日平均排出量 (L/人・日)} \\ &= \text{年間排出量 (kL/年)} \div \text{計画収集人口 (人)} \div 365 \text{ (日)} \times 10^3 \end{aligned}$$

浄化槽汚泥

$$\begin{aligned} \text{原単位} &= 1 \text{ 人 } 1 \text{ 日平均排出量 (L/人・日)} \\ &= \text{年間排出量 (kL/年)} \div \text{浄化槽人口 (人)} \div 365 \text{ (日)} \times 10^3 \end{aligned}$$

将来見込みは、図表 3-6 に示すとおりです。

資料1 し尿原単位の推計結果【里庄町】

し尿原単位の実績

(L/人日)

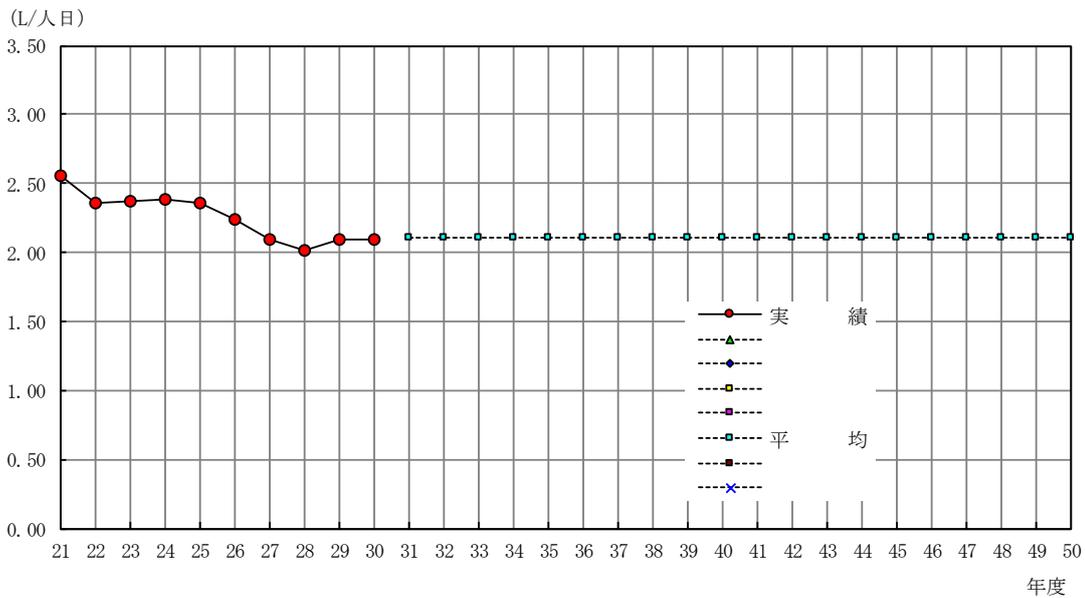
年 度	21	22	23	24	25
し尿原単位	2.55	2.36	2.37	2.38	2.36
前年差	-	-0.19	0.01	0.01	-0.02
前年比	-	0.92549	1.00424	1.00422	0.99160
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

年 度	26	27	28	29	30
し尿原単位	2.24	2.09	2.02	2.10	2.10
前年差	-0.12	-0.15	-0.07	0.08	
前年比	0.94915	0.93304	0.96651	1.03960	1.00000
採用データ	○	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(L/人日)

推計方法	推計式	H47	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
平 均	$y = 2.11$	2.11	○	-
-	-	-		-
-	-	-		-



し尿原単位の推計結果

資料2 浄化槽汚泥原単位の推計結果【里庄町】

浄化槽汚泥原単位 の実績

(L/人日)

年 度	21	22	23	24	25
浄化槽汚泥原単位	2.95	2.79	2.65	2.41	2.17
前年差	-	-0.16	-0.14	-0.24	-0.24
前年比	-	0.94576	0.94982	0.90943	0.90041
採用データ	不採用	不採用	不採用	不採用	不採用

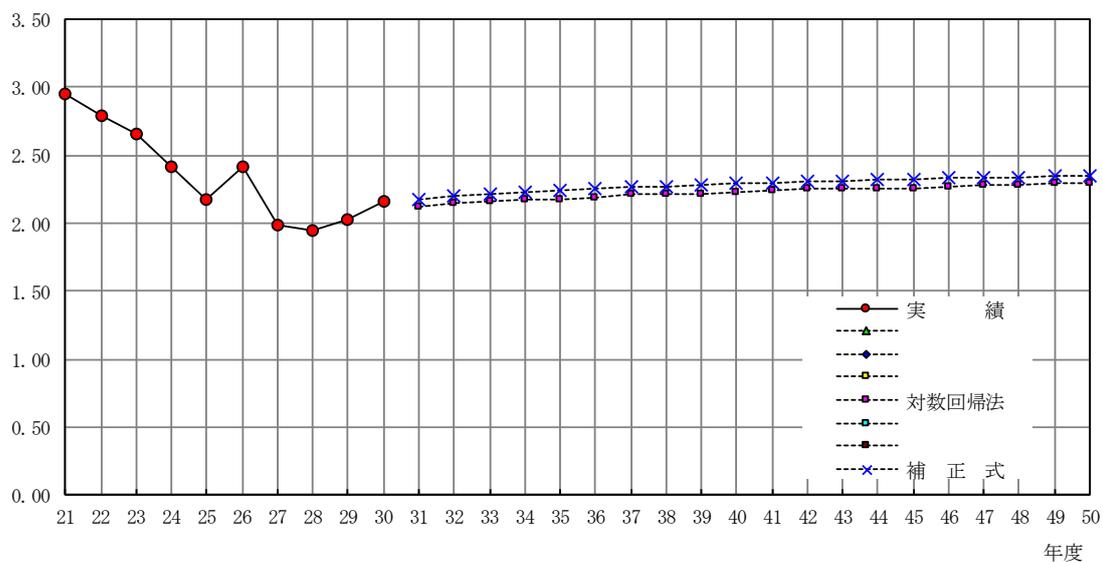
年 度	26	27	28	29	30
浄化槽汚泥原単位	2.42	1.99	1.94	2.03	2.16
前年差	0.25	-0.43	-0.05	0.09	0.13
前年比	1.11521	0.82231	0.97487	1.04639	1.06404
採用データ	不採用	○	○	○	○

推計式及び推計結果

(L/人日)

推計方法	推計式	H47	採用	相関係数
-	-	-		-
-	-	-		-
-	-	-		-
対数回帰法	$Y = 1.944 + 0.109 \times L_n$ (平成年度-26)	2.28	○	0.7047484
-	-	-		-
-	-	-		-
補正式	$Y = 1.944 + 0.109 \times L_n$ (平成年度-26) + 0.06	2.34	◎	-

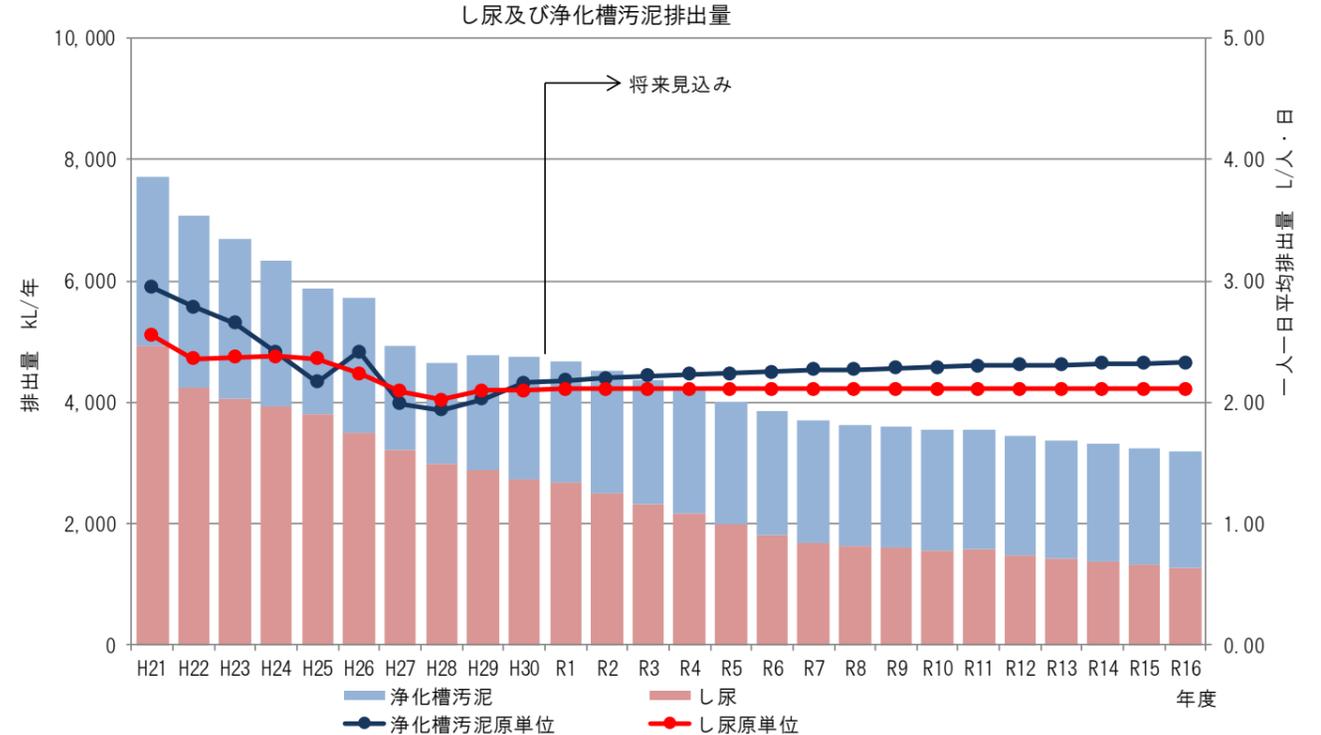
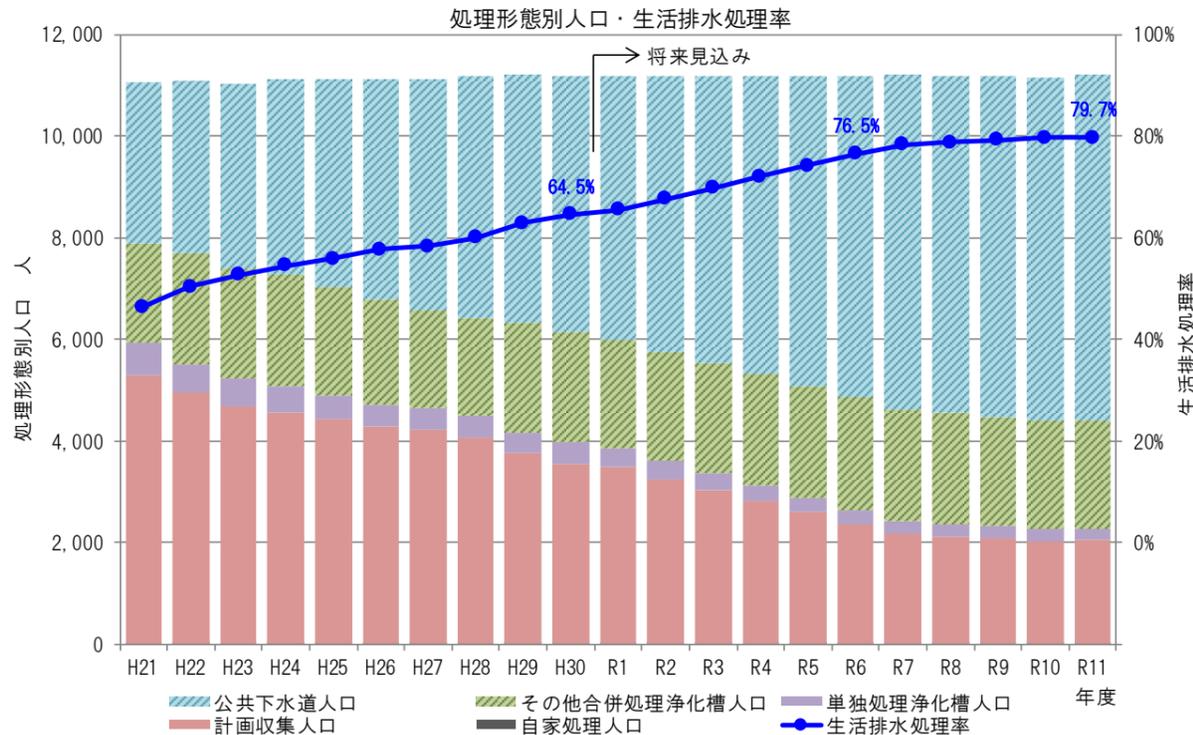
(L/人日)



浄化槽汚泥原単位の推計結果

◆図表3-6 生活排水処理形態別人口およびし尿・浄化槽汚泥の推計【里庄町】

項目	年度	実績 ← 推計																	推計算出根拠等											
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17		
行政区域内人口	[人]	11,045	11,095	11,038	11,131	11,112	11,123	11,117	11,183	11,214	11,175	11,174	11,177	11,181	11,184	11,187	11,191	11,194	11,183	11,172	11,161	11,220	11,139	11,113	11,088	11,062	11,037	11,011	(1) ゴミ処理基本計画将来人口より	
計画処理区域内人口	[人]	11,045	11,095	11,038	11,131	11,112	11,123	11,117	11,183	11,214	11,175	11,174	11,177	11,181	11,184	11,187	11,191	11,194	11,183	11,172	11,161	11,220	11,139	11,113	11,088	11,062	11,037	11,011	(2) = (3) + (6)	
非水洗化人口	[人]	5,293	4,940	4,687	4,548	4,431	4,269	4,214	4,071	3,754	3,565	3,477	3,256	3,035	2,813	2,591	2,367	2,180	2,132	2,084	2,034	2,047	1,932	1,867	1,801	1,736	1,670	1,604	(3) = (4) + (5)	
計画収集人口	[人]	5,281	4,929	4,677	4,540	4,423	4,261	4,206	4,063	3,746	3,557	3,469	3,249	3,028	2,807	2,585	2,362	2,175	2,127	2,079	2,029	2,042	1,927	1,862	1,796	1,731	1,665	1,599	(4) = (18) × 率①	
自家処理人口	[人]	12	11	10	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	(5) = (18) × 率②	
水洗化人口	[人]	5,752	6,155	6,351	6,583	6,681	6,854	6,903	7,112	7,460	7,610	7,697	7,921	8,146	8,371	8,596	8,824	9,014	9,051	9,088	9,127	9,173	9,207	9,246	9,287	9,326	9,367	9,407	(6) = (7) + (9)	
公共下水道人口	[人]	3,155	3,380	3,632	3,864	4,073	4,333	4,538	4,761	4,895	5,035	5,183	5,415	5,647	5,878	6,110	6,342	6,574	6,636	6,697	6,760	6,821	6,884	6,945	7,008	7,069	7,132	7,193	(7) = (50)	
コミュニティプラント人口	[人]																												(8) = 該当なし	
浄化槽人口	[人]	2,597	2,775	2,719	2,719	2,608	2,521	2,365	2,351	2,565	2,575	2,514	2,506	2,499	2,493	2,486	2,482	2,440	2,415	2,391	2,367	2,352	2,323	2,301	2,279	2,257	2,235	2,214	(9) = (10) + (14)	
合併処理浄化槽人口	[人]	1,966	2,204	2,172	2,204	2,136	2,085	1,940	1,934	2,157	2,174	2,123	2,139	2,157	2,176	2,195	2,216	2,195	2,175	2,156	2,138	2,121	2,105	2,090	2,076	2,062	2,048	2,035	(10) = (11) + (12)	
集落排水人口	[人]																													(11) = 該当なし
その他合併処理浄化槽人口	[人]	1,966	2,204	2,172	2,204	2,136	2,085	1,940	1,934	2,157	2,174	2,123	2,139	2,157	2,176	2,195	2,216	2,195	2,175	2,156	2,138	2,121	2,105	2,090	2,076	2,062	2,048	2,035	(12) = (45)	
内 補助事業(新規)	[人]		159	75	77	78	53	72	72	62	90	70	70	70	70	70	70													(13)
単独処理浄化槽人口	[人]	631	571	547	515	472	436	425	417	408	401	391	367	342	317	291	266	245	240	235	229	231	218	211	203	195	187	179	(14) = (1) - (3) - (7) - (12)	
計画処理区域外人口	[人]																												(15) = (1) - (2)	
生活排水処理人口	[人]	5,121	5,584	5,804	6,068	6,209	6,418	6,478	6,695	7,052	7,209	7,306	7,554	7,804	8,054	8,305	8,558	8,769	8,811	8,853	8,898	8,942	8,989	9,035	9,084	9,131	9,180	9,228	(16) = (7) + (10)	
生活排水処理率		46.4%	50.3%	52.6%	54.5%	55.9%	57.7%	58.3%	59.9%	62.9%	64.5%	65.4%	67.6%	69.8%	72.0%	74.2%	76.5%	78.3%	78.8%	79.2%	79.7%	79.7%	80.7%	81.3%	81.9%	82.5%	83.2%	83.8%	(17) = (16) ÷ (1)	
計画収集人口割合		89.15%	89.44%	89.36%	89.67%	90.21%	90.56%	90.67%	90.53%	90.01%	89.69%	89.69%	89.68%	89.67%	89.68%	89.70%	89.71%	89.69%	89.67%	89.65%	89.66%	89.64%	89.63%	89.61%	89.62%	89.64%	89.66%	89.68%	率① = (4) ÷ 合計人口	
自家処理人口割合		0.20%	0.20%	0.19%	0.16%	0.16%	0.17%	0.17%	0.18%	0.19%	0.20%	0.21%	0.19%	0.21%	0.19%	0.21%	0.19%	0.21%	0.21%	0.22%	0.22%	0.22%	0.23%	0.24%	0.25%	0.26%	0.27%	0.28%	率② = (5) ÷ 合計人口	
単独処理浄化槽人口割合		10.65%	10.36%	10.45%	10.17%	9.63%	9.27%	9.16%	9.29%	9.80%	10.11%	10.11%	10.13%	10.13%	10.10%	10.10%	10.10%	10.10%	10.12%	10.13%	10.12%	10.14%	10.14%	10.15%	10.13%	10.10%	10.07%	10.04%	率③ = (14) ÷ 合計人口	
上記合計人口	[人]	5,924	5,511	5,234	5,063	4,903	4,705	4,639	4,488	4,162	3,966	3,868	3,623	3,377	3,130	2,882	2,633	2,425	2,372	2,319	2,263	2,278	2,150	2,078	2,004	1,931	1,857	1,783	(18) = (1) - (12) - (7)	
排出量	し尿	年間排出量 [kL/年度]	4,919	4,241	4,049	3,945	3,805	3,488	3,206	2,990	2,878	2,724	2,672	2,504	2,332	2,161	1,989	1,818	1,675	1,639	1,602	1,562	1,573	1,486	1,434	1,383	1,332	1,281	1,230	(19) = (20) × 365日
		一日排出量 [kL/日]	13.47	11.63	11.08	10.81	10.44	9.54	8.79	8.21	7.87	7.47	7.32	6.86	6.39	5.92	5.45	4.98	4.59	4.49	4.39	4.28	4.31	4.07	3.93	3.79	3.65	3.51	3.37	(20) = (21) × (30) ÷ 1,000
		原単位 [L/人・日]	2.55	2.36	2.37	2.38	2.36	2.24	2.09	2.02	2.10	2.10	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11	2.11
	浄化槽汚泥	年間排出量 [kL/年度]	2,795	2,830	2,631	2,391	2,063	2,225	1,716	1,663	1,897	2,034	2,000	2,011	2,026	2,029	2,033	2,037	2,022	2,000	1,989	1,978	1,975	1,960	1,942	1,931	1,913	1,902	1,891	(22) = (23) × 365日
		一日排出量 [kL/日]	7.66	7.74	7.21	6.55	5.66	6.10	4.71	4.56	5.21	5.56	5.48	5.51	5.55	5.56	5.57	5.58	5.54	5.48	5.45	5.42	5.41	5.37	5.32	5.29	5.24	5.21	5.18	(23) = (24) × (31) ÷ 1,000
		原単位 [L/人・日]	2.95	2.79	2.65	2.41	2.17	2.42	1.99	1.94	2.03	2.16	2.18	2.20	2.22	2.23	2.24	2.25	2.27	2.27	2.28	2.29	2.30	2.31	2.31	2.32	2.32	2.33	2.34	(24) = 資料2
	合計	年間排出量 [kL/年度]	7,714	7,072	6,680	6,337	5,868	5,713	4,922	4,653	4,775	4,759	4,672	4,515	4,358	4,190	4,022	3,855	3,697	3,639	3,591	3,540	3,548	3,446	3,376	3,314	3,245	3,183	3,121	(25) = (19) + (22)
		一日排出量 [kL/日]	21.13	19.37	18.29	17.36	16.10	15.64	13.50	12.77	13.08	13.03	12.80	12.37	11.94	11.48	11.02	10.56	10.13	9.97	9.84	9.70	9.72	9.44	9.25	9.08	8.89	8.72	8.55	(26) = (20) + (23)
	割合 (一日量)	し尿	63.7%	60.0%	60.6%	62.3%	64.8%	61.0%	65.1%	64.3%	60.2%	57.3%	57.2%	55.5%	53.5%	51.6%	49.5%	47.2%	45.3%	45.0%	44.6%	44.1%	44.3%	43.1%	42.5%	41.7%	41.1%	40.3%	39.4%	(28) = (20) ÷ (26)
		浄化槽汚泥	36.3%	40.0%	39.4%	37.7%	35.2%	39.0%	34.9%	35.7%	39.8%	42.7%	42.8%	44.5%	46.5%	48.4%	50.5%	52.8%	54.7%	55.0%	55.4%	55.9%	55.7%	56.9%	57.5%	58.3%	58.9%	59.7%	60.6%	(29) = (23) ÷ (26)
	し尿排出量に対する対象人口		5,281	4,929	4,677	4,540	4,423	4,261	4,206	4,063	3,746	3,557	3,469	3,249	3,028	2,807	2,585	2,362	2,175	2,127	2,079	2,029	2,042	1,927	1,862	1,796	1,731	1,665	1,599	(30) = (4)
	浄化槽汚泥排出量に対する対象人口		2,597	2,775	2,719	2,719	2,608	2,521	2,365	2,351	2,565	2,575	2,514	2,506	2,499	2,493	2,486	2,482	2,440	2,415	2,391	2,367	2,352	2,323	2,301	2,279	2,257	2,235	2,214	(31) = (9)
し尿処理施設対象人口(合計)		7,878	7,704	7,396	7,259	7,031	6,782	6,571	6,414	6,311	6,132	5,983	5,755	5,527	5,300	5,071	4,844	4,615	4,542	4,470	4,396	4,394	4,250	4,163	4,075	3,988	3,900	3,813	(32) = (30) + (31)	



(続き)

◆公共下水道計画

項目	年度	21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	推計算出根拠等	
行政区域内人口		11,045	11,095	11,038	11,131	11,112	11,123	11,117	11,183	11,214	11,175	11,174	11,177	11,181	11,184	11,187	11,191	11,194	11,183	11,172	11,161	11,220	11,139	11,113	11,088	11,062	11,037	11,011	(33) =(1)	
◆ケース1																														
公共 下 水 道	処理区域内人口		4,768	5,016	5,292	5,600	6,166	6,568	6,629	6,671	6,877	7,199	7,521	7,843	8,164	8,486	8,808	9,130	9,217	9,302	9,389	9,474	9,561	9,646	9,733	9,818	9,905	9,990	(34) =(36)+(37) ※R7までは直線補間	
	下水道人口普及率		43.0%	45.4%	47.5%	50.4%	55.4%	59.1%	59.3%	59.5%	61.5%	64.4%	67.3%	70.1%	73.0%	75.9%	78.7%	81.6%	82.4%	83.3%	84.1%	84.4%	85.8%	86.8%	87.8%	88.8%	89.7%	90.7%	(35) =(34)÷(33)	
	里庄処理区																		8,905	8,991	9,076	9,162	9,247	9,333	9,418	9,504	9,589	9,675	9,760	(36) H37とH47(変更協議書?)を直線補間
	里庄北処理区																		225	226	226	227	227	228	228	229	229	230	230	(37) H37とH47(変更協議書?)を直線補間
	水洗化人口		3,380	3,632	3,864	4,073	4,333	4,538	4,761	4,895	5,035	5,183	5,415	5,647	5,878	6,110	6,342	6,574	6,636	6,697	6,760	6,821	6,884	6,945	7,008	7,069	7,132	7,193	(38) =H31まで(34)×(39)、以降直線補間	
	(水洗化率 対処理区域内人口)		70.9%	72.4%	73.0%	72.7%	70.3%	69.1%	71.8%	73.4%	73.2%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	(39) =実績値の平均程度で横ばい

◆合併処理浄化槽整備計画

項目	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	推計算出根拠等	
整備基数		31	43	20	22	21	14	19	20	19	26																		(40) =合併受付者資料による	
同上累計		714	757	777	799	820	834	853	873	892	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	(41) =前年の(41)+(40)
整備人口		2,899	159	75	77	78	53	72	72	62	90	70	70	70	70	70													(42) =実績値の平均程度で横ばい	
同上累計			2,650	2,720	2,797	2,875	2,928	3,000	3,072	3,134	3,224	3,294	3,364	3,434	3,504	3,574	3,644	3,644	3,644	3,644	3,644	3,644	3,644	3,644	3,644	3,644	3,644	3,644	3,644	(43) =前年の(43)+(42)
1基あたり人口			3.50	3.50	3.50	3.71	3.79	3.79	3.60	3.26	3.46																		(44)	
浄化槽人口			2,204	2,172	2,204	2,136	2,085	1,940	1,934	2,157	2,174	2,123	2,139	2,157	2,176	2,195	2,216	2,195	2,175	2,156	2,138	2,121	2,105	2,090	2,076	2,062	2,048	2,035	(45) =(43)×(46)	
対処理人口率			83.2%	79.9%	78.8%	74.3%	71.2%	64.7%	63.0%	68.8%	67.4%	64.5%	63.6%	62.8%	62.1%	61.4%	60.8%	60.2%	59.7%	59.2%	58.7%	58.2%	57.8%	57.4%	57.0%	56.6%	56.2%	55.9%	(46) =対数回帰式(H22~H30)による	